

2022 年度

大学院前期博士課程(修士課程)

学 生 募 集 要 項

◆ 経 営 学 研 究 科

◆ 経 済 学 研 究 科

◆ 法 学 研 究 科

◆ 文 学 研 究 科

◆ 理 学 研 究 科

◆ 工 学 研 究 科

◆ 生 活 科 学 研 究 科

※ 医学研究科、看護学研究科、都市経営研究科の募集要項は別途発行

大 阪 市 立 大 学

新型コロナウイルス感染拡大防止による募集要項の記載内容について

新型コロナウイルス関連により、募集要項の掲載内容に変更がある場合は、本学 Web サイト「入試情報」において随時公表します。以下のサイトで最新の入試情報を確認するようにしてください。

<https://www.osaka-cu.ac.jp/ja/admissions> (前期博士課程募集要項掲載ページをご覧ください)

重要なお知らせ

大阪市立大学は、大阪公立大学（仮称）の2022年4月開学に向けて、文部科学省に設置認可申請中です。このため、2022年度大阪市立大学大学院入学者選抜に合格した皆さまは、この設置が認められた場合、大阪公立大学（仮称）大学院に入学することになります。

したがって、入学を志願される方は、本学 Web サイト (<https://www.osaka-cu.ac.jp/ja/admissions/graduate/7rcubm>) に掲載している「教員の大阪公立大学（仮称）への移行先所属一覧表」を参照し、自身が指導を希望する教員の研究科・専攻・課程・分野等及び大阪公立大学（仮称）大学院の所属先を確認した上で「大阪公立大学（仮称）の研究科・専攻・課程・分野等の確認書」（本学所定の用紙）を、他の出願書類とともに必ず提出してください。

なお、大阪公立大学（仮称）の設置が認められなかった場合には、大阪市立大学の組織に変更はありませんので、合格者は出願する研究科・専攻・課程・分野等にそのまま入学することになります。

●本学の理念、基本方針、ポリシー

大阪市立大学の理念

- 大学の普遍的使命—優れた人材の育成と真理の探究—の達成
- 市民の誇りとなる大学
 - ・都市を学問創造の場としてとらえ、都市の諸問題に英知を結集して正面から取り組む。
 - ・教育及び研究の成果を都市と市民に還元し、地域社会及び国際社会の発展に寄与する。
- 市民に親しまれる大学
 - ・都市型総合大学として、都市・大阪の伝統と文化を継承する。
 - ・自由で創造的な教育と研究及び高水準の医療を推進する。
 - ・市民とともに、都市の文化、経済、産業、医療などの諸機能の向上を図り、真の豊かさの実現をめざす。

教育の基本方針

- 都市・大阪を背景とした市民の大学という理念に立脚
- 人類の幸福と発展に貢献
- 様々な分野で指導的役割を果たし、社会で活躍する人材の育成

研究の基本方針

- 新しい知の創造をめざす独創的で特色ある研究を推進
- 都市が抱える様々な課題に取り組み、成果を都市と市民に還元し、地域社会の発展に寄与
- 新しい産業を生み出す芽となる研究を推進し、その成果を社会に還元

人材育成の目標像

それぞれの学問領域の研究成果を体系的に学習し、学際領域にも応用展開できる創造力ある人材の育成

【大阪市立大学の教育の特色と目標】

大阪市立大学は、1880年の大阪商業講習所設立に始まり、日本で初めて市立の大学として発足した旧制の大阪商科大学を経て、今日まで続く長い歴史と伝統を持つ公立大学です。公立では数少ない総合大学であり、高い水準の多様な学問研究を基盤とする研究大学として歩むとともに、「理論と実際の有機的な連結を重視する学風」や市井の精神に発した自主独立・自由進取の気風を重んじて、大阪の発展や日本と世界の未来を担う人間を長年育成してきました。

大阪市立大学は、これらの伝統を生かしつつ、8学部10研究科の多彩な学問分野にわたる総合大学として、国際的かつ个性的で多様な研究の場を活かしながら、高度で闊達な少人数教育を行っています。多様な課題を抱える大阪や日本ひいては世界の調和と発展に貢献するために、真善美の価値判断を身につけ、英知と市民的公共性を備え、多様な他者と協働しながら、地域・社会の様々な分野で指導的役割を果たせる、次世代の人間の育成をめざしています。

〈大阪市立大学 大学院課程の3ポリシー〉

【学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）】

大阪市立大学は、大学院課程の教育を通して、高度に専門性を深め、幅広い知識を備えて、それらを融合しうる研究者や職業人など社会に貢献できる人間を育成します。この目標を達成するために、所属研究科において定める専門分野に関する高度な知識・技能等を身につけ、研究科の教育と研究の理念や目的に沿った研究指導を受け、所定の期間在学して所定の単位を修得し、審査や試験に合格した学生に学位を授与します。

前期博士課程・修士課程では、各学問領域の研究成果の体系的な学習や自ら推進する研究活動等を通して、専門分野に関する高度の知識・技能並びに当該専門分野に関連する分野の基礎的素養を身につけ、当該分野の発展に貢献し、他の領域にも応用展開できる力を身につけているかどうか、課程修了の基準となります。

【教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）】

大阪市立大学は、学位授与の方針に掲げる学修成果の達成のために、各研究科の専攻分野に関する科目、研究科を超えて全学に提供する大学院共通教育科目、および主専攻とは別に準備する博士課程教育リーディングプログラム科目からなる教育プログラムを体系的に編成するとともに、講義、演習、実習等の多様な形態による授業を開講し、研究科の教育と研究の理念や目的に沿った研究指導を行います。

大学院共通教育科目は、大学院課程を通して教育・研究目的の達成に必要な、専門性を越えた普遍的で公正な視点で研究する姿勢を身につけることを目的として設置します。

【入学受入れの方針（アドミッション・ポリシー）】

大阪市立大学は、大学院課程の教育を通して、ディプロマ・ポリシーに掲げた学修成果を修める学生を育成して教育目標を達成するために、学部あるいは大学院の教育課程等における学修を通して培った確かな基礎学力と専門分野における十分な知識を有し、および人間性豊かで、科学や都市の産業・文化・生活・環境の発展に寄与しようとする志を持つ、向学心旺盛で優れた資質を有する学生を、広く国内外から受け入れます。

このような学生を適正に選抜するために、研究科・専攻等の募集単位ごとに、多様な選抜方法を実施します。

※ 詳しくは、以下をご参照ください。

https://www.osaka-cu.ac.jp/ja/admissions/admission_policy/



〈修業年限について〉

前期博士課程（修士課程）の標準修業年限は2年です。

なお、経営学研究科*・経済学研究科*・法学研究科・文学研究科・理学研究科・工学研究科*・生活科学研究科では、社会人あるいは育児、介護などによって十分な学修時間を確保することが難しいなど、標準修業年限での修了が困難な学生には、標準修業年限内の授業料で修業年限を計画的に延長する長期履修学生制度があります。詳しくは学生サポートセンター各研究科教務担当（裏表紙参照）にお問い合わせください。（ただし、*の研究科については、大阪公立大学（仮称）の設置認可が認められた場合となります。）

目 次

〈 一 般 選 拔 〉

1	募 集 人 員	1
2	出 願 資 格	1
3	事 前 相 談	2
4	出 願 書 類 等	2
5	出 願 方 法	4
6	選 抜 方 法	4
	(選 抜 試 験)	
	経 営 学 研 究 科	5
	経 済 学 研 究 科	7
	法 学 研 究 科	9
	文 学 研 究 科	11
	理 学 研 究 科	13
	工 学 研 究 科	15
	生 活 科 学 研 究 科	18
7	受 験 上 ・ 修 学 上 の 配 慮 を 希 望 す る 者 の 出 願	20
8	合 格 者 発 表 等	20
9	入 学 手 続	20
10	学 費	20
11	注 意 事 項	21

〈 外 国 人 留 学 生 特 別 選 抜 〉

1	募 集 人 員	22
2	出 願 資 格	22
3	事 前 相 談	23
4	出 願 書 類 等	23
5	出 願 方 法	26
6	選 抜 方 法	26
	(選 抜 試 験)	
	経 営 学 研 究 科	27
	経 済 学 研 究 科	29
	法 学 研 究 科	31
	文 学 研 究 科	33
	理 学 研 究 科	35
	工 学 研 究 科	37
	生 活 科 学 研 究 科	40
7	受 験 上 ・ 修 学 上 の 配 慮 を 希 望 す る 者 の 出 願	42
8	合 格 者 発 表 等	42
9	入 学 手 続	42
10	学 費	42
11	注 意 事 項	43

〈 出 願 資 格 審 査 〉	44
-----------------	----

〈 社 会 人 特 別 選 抜 学 生 募 集 の 概 要 〉	45
---------------------------------	----

○ キャンパスマップ・交通案内図	47
------------------	----

○ 問 い 合 わ せ 先	裏表紙
---------------	-----

〈一般選抜〉

1 募集人員

研究科	専攻	入学定員	募集人員	研究科	専攻	入学定員	募集人員
経営学	グローバルビジネス	20	10	理学	数物系	31	31
経済学	現代経済	20	19		物質分子系	37	36
法学	法学政治学	15	8		生物地球系	29	29
文学	哲学歴史学	14	14	工学	機械物理系	36	36
	人間行動学	16	16		電子情報系	58	58
	言語文化学	18	18		化学生物系	36	36
	文化構想学	12	12		都市系	47	47
				生活科学	生活科学	53	53

・医学研究科、看護学研究科及び都市経営研究科の募集要項は、別途発行します。

- 注1 選抜試験の成績により、合格者数が募集人員に達しない場合があります。
- 2 生活科学研究科については、同時期に推薦入学特別選抜があります。募集人員は上記入学定員に含みます。
- 3 経済学研究科・法学研究科・文学研究科・生活科学研究科については、同時期に社会人を対象とした特別選抜があります。募集人員は上記入学定員に含みます。社会人特別選抜の概要については、45ページ及び研究科ごとに発行している学生募集要項で確認してください（社会人特別選抜との併願は認めません）。
なお、社会人特別選抜の詳細については、学生サポートセンター各研究科教務担当にお問い合わせください。

2 出願資格

次の各号のいずれかに該当する者

- (1) 大学を卒業した者及び2022年3月までに卒業見込みの者
- (2) 大学改革支援・学位授与機構により学士の学位を授与された者及び2022年3月までに授与される見込みの者
- (3) 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者及び2022年3月までに修了見込みの者
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者及び2022年3月までに修了見込みの者
- (5) 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者及び2022年3月までに修了見込みの者
- (6) 専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であること、その他の文部科学大臣が別に定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者及び2022年3月までに修了見込みの者
- (7) 昭和28年文部省告示第5号をもって文部科学大臣の指定した者
- (8) 外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。）において、修業年限が3年以上である課程を修了すること（当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって出願資格(5)の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。）により、学士の学位に相当する学位を授与された者及び2022年3月までに授与される見込みの者
- (9) 学校教育法第102条第2項の規定により大学院に入学した者であって、当該研究科において、大学院における教育を受けるにふさわしい学力があると認められたもの
- (10) 2022年3月末で、大学に3年以上在学し、又は外国において学校教育における15年の課程を修了し、当該研究科において所定の単位を優れた成績をもって修得したものと認められた者
- (11) 当該研究科において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、2022年3月31日現在において22歳以上のもの

注1 「2出願資格」(8)により出願しようとする者は、2021年6月23日(水)までに入試課までお問い合わせください。

2 「2出願資格」(9)から(11)により出願しようとする者は、出願資格の認定のため、「出願資格審査申請書」などの提出を必要としますので、事前に学生サポートセンター各研究科教務担当に申し出の上、2021

年7月1日(木)までに必ず学生サポートセンター各研究科教務担当に必要書類を提出してください。(＜出願資格審査＞44 ページ参照)

- 3 「2出願資格」(11)については、短期大学、高等専門学校、各種学校の卒業者など大学卒業資格を有していない者であっても、当該研究科において個人の能力の個別審査により大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者です。

3 事前相談

出願しようとする者は、出願前に、希望する研究指導教員に必ず相談してください。事前相談がない場合、出願が認められない場合があります。また、事前相談は教員の出張等の都合により出願に間に合わない場合がありますので、余裕を持って(原則として出願期間初日までに)連絡してください。研究指導教員の連絡先は学生サポートセンター各研究科教務担当にお問い合わせください。各研究科教務担当の電話番号等は、裏表紙にあります。

経営学研究科は研究指導教員への相談は不要です。経済学研究科は7ページ注2を参照してください。法学研究科の課題展開プログラムは、一部の場合を除き、研究指導教員への相談は不要です。

4 出願書類等

※必要に応じて追加書類の提出を求めています。

(1) 出願書類等(共通)

1	入学願書 (写真2枚)	① 本学所定の用紙を用い、黒のボールペン(消せるボールペン等は不可)を使用し、本人が記入してください。 ② ※印の欄は記入しないでください。 ③ 受験票と写真票には、縦4cm×横3cmの 同じ写真 (上半身、無帽で出願日より3か月以内に撮影したもの)をそれぞれ貼ってください。 ④ 「志望専門分野名」欄と「受験科目」欄には、4ページ以下「 6選抜方法(選抜試験) 」の「願書記入上の注意」をよく読んで、 指定された欄のみ 記入してください。 ⑤ 出願後の記載の変更は認めません。
2	成績証明書及び卒業(見込)証明書 * 原本(コピー不可)	出身大学長、又は学部長等が作成したもの。(注) (ただし、出願する研究科の基礎となる本学学部卒業(見込)の者〔例えば、経営学研究科の場合は商学部〕及び「2出願資格」(9)から(11)に該当する者は提出する必要がありません。)
3	学位授与証明書又は学位授与申請受理証明書 * 原本(コピー不可)	「2出願資格」(2)に該当する者は、提出すること。(注) (10月に授与申請を行う者は、出身学校長等が作成した「学位授与申請予定者である旨の証明書(様式任意)」を提出すること。)
4	確認書	本学所定の用紙「大阪公立大学(仮称)の研究科・専攻・課程・分野等の確認書」に記載の内容を確認し、必要事項を記入のうえ、提出してください。 ※提出前に必ずコピーをとり、コピーは各自で保管し、原本を提出。
5	受験票等送付用封筒	本学所定の封筒に 384円 分の切手を貼り、受験票等送付先の郵便番号、住所及び氏名を記入したもの。
6	出願資格認定通知書	「2出願資格」(9)から(11)により出願する者のみ提出。
7	入学検定料	30,000円 郵便局で、本学所定の払込取扱票にて納付してください。 (21ページ「11注意事項」(3)に該当する者以外には、既納の入学検定料は返還しません。)

(注) 旧姓(名)の証明書を使用する場合は、姓(名)が変わった理由を別紙に記載してください。(様式任意)

(2) 研究科ごとに必要な書類

各研究科所定の用紙については本学 Web サイトからダウンロードすることもできます。

(A4 白紙に片面でプリントアウトしてください。指定がない限り PC 等での作成も可。)

[本学 Web サイト <https://www.osaka-cu.ac.jp/ja/admissions/graduate/ishorui>]

《経営学研究科》

A	志望理由・ 研究計画書	経営学研究科所定の用紙を用い、記述の上、提出してください。
---	----------------	-------------------------------

《経済学研究科》

A	志望理由・ 研究計画書	経済学研究科所定の用紙又は経済学研究科所定の用紙の太枠内を記入したものを表紙とし、A4版(縦長、横書き)用紙に、研究計画等を記述の上、原本1部を提出してください。
---	----------------	---

《法学研究科》

A	研究計画書	法学研究科所定の用紙を用い、1部提出してください。
B	論文(希望者のみ)	希望者は、志望する専攻分野に関連した1万字程度以上2万字程度以内の字数で日本語により執筆された論文を1点提出することができます。

《文学研究科》

A	研究計画書	志望専攻の専門分野について研究したこと及び今後研究を行いたいことを4,000字程度にまとめたもの。A4版(縦長)にパソコン等で横書き(手書きも可)したものに、文学研究科所定の表紙をつけてください。1行あたりの字数、1頁あたりの行数等の様式、文章の構成は自由です。(※)
B	文学研究科 必要事項記入用紙	文学研究科所定の用紙を用い提出してください。
C	卒業論文(写し)	志望専攻の専門分野に関係のあるもの(本学・他大学を問わず、卒業見込者は不要です。また、卒業論文を課さない大学・学部の出身者、志望専攻の専門分野と異なる学部・学科・専攻等の出身者も不要です。)
D	A、C以外の研究成果 を示す論文等(写し) (希望者のみ)	A、C(研究計画書、卒業論文(写し))以外で、志望専攻の専門分野についての研究成果を示す論文等があれば、その写しを提出してください。

※Aについて、出願期間中に提出できない場合は、次の手順で期日延長を認めます。

①B「文学研究科 必要事項記入用紙」に必要事項を記入し、出願時に提出。

②学生サポートセンター文学研究科教務担当に下記の提出期限までに郵送または持参

提出期限：2021年8月6日(金)17:00(必着)

(郵送の場合は、封筒に「大学院入試出願書類日延長書類在中」と「赤色」で書き、必ず「文学研究科教務担当」あてに郵便局で**特定記録速達郵便**により送付のこと。)

《理学研究科(物質分子系専攻及び生物地球系専攻)》

A	TOEIC 公式認定証(原本) (*)	2019年7月1日から2021年6月30日の間に実施されたTOEIC Listening & Reading Testのスコアを有効とします。複数回受験した場合は、出願しようとする者がその中から一つを選択して出願時に提出してください。 <u>団体特別受験制度(IPテスト)のスコアは無効です。</u> <u>一度、提出されたTOEIC公式認定証(原本)の差し替えは認めません。</u> <u>また、提出されたTOEIC公式認定証(原本)は返却しません。</u>
---	---------------------------	---

※生物地球系専攻に出願する者は、別紙を参照のうえ「TOEIC IPテスト受験希望調査票」を必ず提出してください。

※出願時に「TOEIC公式認定証(原本)」を提出できない場合は、次のとおり提出期日の延長を認めます。

①申立書(A4用紙・様式任意)に理由を記入し、出願時に同封してください。

②TOEIC公式認定証(原本)をいずれかにより提出してください。

学生サポートセンター理学研究科教務担当(裏表紙参照)に郵送：2021年8月2日(月)消印有効

学生サポートセンター理学研究科教務担当に直接持参：2021年8月2日(月)17:00まで

(郵送の場合は、出願専攻名を明記した紙を同封の上、封筒に「TOEIC公式認定証 在中」と「赤色」で書き、必ず「理学研究科教務担当」あてに郵便局で**特定記録速達郵便**により送付のこと。)

(*) 写真のないものは無効とします。提出されたTOEIC公式認定証(原本)に不正が認められた場合は、入

学許可後であっても入学を取り消します。

(*) 抽選方式での申込により、受験機会が得られず「TOEIC 公式認定証(原本)」を提出できない者の対応については、別紙を参照してください。

《工学研究科》

A	TOEIC 公式認定証(原本) (*)	<p>2019年7月1日から2021年6月30日の間に実施された TOEIC Listening & Reading Test のスコア及び「院試出願予定者専用 IP テスト」(大阪市立大学生生活協同組合主催・2021年5月8日〔予備日:5月15日〕開催分)のスコアを有効とします。複数回受験した場合は、出願しようとする者がその中から一つを選択して出願時に提出してください。</p> <p><u>団体特別受験制度(IPテスト)のスコアは無効です。ただし、「院試出願予定者専用 IP テスト」(大阪市立大学生生活協同組合主催・2021年5月8日〔予備日:5月15日〕開催分)のスコアに限り有効とします。</u></p> <p><u>一度、提出された TOEIC 公式認定証(原本)又は「院試出願予定者専用 IP テスト」のスコアの差し替えは認めません。</u></p> <p><u>また、提出された TOEIC 公式認定証(原本)又は「院試出願予定者専用 IP テスト」のスコアは返却しません。</u></p>
<p>※出願時に「TOEIC 公式認定証(原本)」を提出できない場合は、次のとおり提出期日の延長を認めます。</p> <p>①申立書(A4用紙・様式任意)に理由を記入し、出願時に同封してください。</p> <p>②TOEIC 公式認定証(原本)をいずれかにより提出してください。</p> <p>学生サポートセンター工学研究科教務担当(裏表紙参照)に郵送:2021年8月3日(火)消印有効 学生サポートセンター工学研究科教務担当に直接持参:2021年8月3日(火)17:00まで (郵送の場合は、出願専攻名を明記した紙を同封の上、封筒に「TOEIC 公式認定証 在中」と「赤色」で書き、必ず「工学研究科教務担当」あてに郵便局で特定記録速達郵便により送付のこと。)</p>		

(*) 写真のないものは無効とします。提出された TOEIC 公式認定証(原本)又は「院試出願予定者専用 IP テスト」のスコアに不正が認められた場合は、入学許可後であっても入学を取り消します。

5 出願方法

出願しようとする者は、入学検定料を納付し、出願書類を取りそろえ、本学所定の出願封筒(出願書類が入りきらない場合は、本学所定の出願封筒の表を切り取ったものを貼った封筒でも可)を使用し、次の送付先に必ず**書留速達郵便(EMS を含む)**により送付してください。ただし、本学に在学している者(研究生・研修生等を含む)については、次の出願期間中の月～金曜日(祝日及び休業日を除く)10:00～17:00(12:00～12:45を除く)の時間に限り、学生サポートセンター各研究科教務担当に直接提出することができます(本学所定の出願封筒を使用し出願書類を提出すること)。

出 願 期 間	送 付 先
<p>2021年7月19日(月)～7月26日(月) 【7月26日消印有効】 ※7月27日(火)以降に到着したもののうち消印がないものについては、7月26日(月)までに郵便局の窓口で差し出されたことが確認できるものに限り受理します。</p>	<p>〒558-8585 大阪市住吉区杉本3丁目3番138号 大阪市立大学 入試課</p>

出願の受付が完了した者には「受験票」及び「受験上の注意」を発送します。

8月5日(木)頃に発送の予定ですので、1週間経過しても到着しない場合は、学生サポートセンター各研究科教務担当に連絡してください。

6 選抜方法

入学者選抜は、選抜試験の成績および出願書類の内容を総合して行います。選抜試験会場は、本学杉本キャンパス(JR阪和線杉本町〔大阪市立大学前〕駅下車)です。

なお、詳細は、受験票を送付する際に通知します。受験の際には、必ず受験票を持参してください。

(選抜試験)

● 経営学研究科

入学者受入れの方針 (アドミッション・ポリシー)

(求める学生像)

「考える実学」教育の方針のもと、実社会について旺盛な探求心と世界的視野を持って学修し、その成果をもって経済社会の発展に積極的に貢献しようとする意欲と能力のある、人間性豊かな人を求めます。

(入学者選抜の基本方針)

筆答試験では経営や会計、産業の諸領域の基礎理論および外国語に関する習得について、口述試験では前期博士課程における専門的あるいは学際的知識の学修に対応できる意欲と能力について確認し、出願書類等も踏まえて総合的に評価します。

※ ディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシーは以下をご参照ください。

<https://www.osaka-cu.ac.jp/ja/academics/graduate/business#policy>



《グローバルビジネス専攻》

本専攻には、1)前期博士課程で個々の学問領域について高度に専門的な研究を実施したうえで、「修士論文を作成するコース」と、2)アジアにおける経済やビジネスについて研究を深めたのちに、課題研究論文を作成する「アジア・ビジネス研究プログラム」とが併設されています。取得できる学位は、修得単位によって修士(経営学)、修士(商学)、修士(グローバルビジネス)のいずれかとなりますが、「アジア・ビジネス研究プログラム」では修士(グローバルビジネス)のみとなります。「修士論文を作成するコース」の修了者は後期博士課程に進学して専門の学問領域の研究者となることが期待されます。「アジア・ビジネス研究プログラム」の修了者は専門的な知識を有した高度職業人として活躍することが期待されます。

そのため、後期博士課程に進学を予定する人は、本募集要項の入学試験を受験してください。「アジア・ビジネス研究プログラム」からは、原則として後期博士課程に進学することはできませんので、注意してください。

なお、「アジア・ビジネス研究プログラム」については、別冊の「アジア・ビジネス研究プログラム学生募集要項」をご参照ください。

9月1日(水)		9月2日(木)
10:20~11:50	12:50~14:50	10:00~
筆答試験	筆答試験	口述試験
外国語 (100点) 英語 試験時に本研究科 で用意した語学辞 書を受験者全員に 貸与します。 TOEFL iBTによる 代替可 (注2参照)	専門科目(出題分野)(200点) 下記の出題分野からそれぞれ1問ずつ、合計9問が出題されます。 (A)経営、(B)国際ビジネス、(C)金融、(D)流通、(E)産業、 (F)会計、(G)経営分析、(H)経済学、(I)数学・統計学 9問のうち2問を選択し、各問1,000字以上で解答してください。 ただし、解答文字数制限は、出題分野「(I)数学・統計学」からの出題に対する解答には適用されません。	筆答試験の解答と研究計画書について行います。 (1人当たり 約15分)

- 注1** 9月1日(水)の筆答試験の結果により、指定した者についてのみ口述試験を行います。該当者は、9月2日(木)9:30に経営学研究科支援室(商学部棟1階事務室)前で発表します。
- 2** 外国語(英語)は、受験者が以下のいずれかの試験方法を選択できるようにします。
- ① 筆答試験「英語」を受験する。
 - ② TOEFL iBT(Internet-Based Test)を受験する。TOEFL iBTの成績を、本研究科の換算基準をもとに筆答試験「英語」の評価点数として採用する。
 - ③ 筆答試験「英語」とTOEFL iBTの両方とも受験した場合は、本研究科の換算基準をもとに高い方の成績を筆答試験「英語」の評価点数として採用する。
- 3** TOEFL iBTの成績の使用を希望する場合、以下のすべての条件を満たすことが必要です。
- ① 2021年8月25日(水)までに経営学研究科に送付されたOfficial Score Report(公式スコア票)の成績を有効とする。

- ② 有効とする TOEFL iBT の成績は、2019 年 6 月 1 日から 2021 年 5 月 31 日までの 2 年間に受験した TOEFL iBT テストの成績とします (TOEFL テスト事務局が有効とする 2 年ではありません)。
また、TOEFL PBT (Paper-Based Test) 及び TOEFL-ITP (団体向け) の成績は不可とします。注意してください。
- 4 TOEFL iBT の成績の使用を希望する受験者は、志望理由・研究計画書にそのことを記載してください。記載されていない場合は、TOEFL iBT の成績は利用できません。
- 5 TOEFL iBT の Official Score Report (公式スコア票) が経営学研究科に送付されるよう手続きをする際、DI コード (Institution Code) 及び Department Code に、次の番号を用いてください。
DI コード : 8914 Department Code : 82

願書記入上の注意

受験科目・研究指導教員名は記入の必要がありません。

● 経済学研究科

入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

（求める学生像）

一般コース

経済学の基礎理論を習得したうえで、現代の経済学の先端的な理論や実証研究に関心を持つと同時に、豊かな現実感覚を有する人を受入れます。

修士専修コース

経済学に対する関心を持ちながら、社会のさまざまな分野で問題解決に取り組む意欲のある人を受入れます。

（入学者選抜の基本方針）

一般コース

筆答試験では英語の読解力・表現力と経済学の基礎の習得度を、口述試験では「研究計画書」の的確性を確認し、学士課程における成績とあわせて総合的に評価します。

修士専修コース

筆答試験では経済学の基礎の習得度を、口述試験では「研究計画書」の的確性と修了後の進路の希望を、それぞれ確認し、学士課程における成績とあわせて総合的に評価します。

※ ディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシーは以下をご参照ください。

<https://www.osaka-cu.ac.jp/ja/academics/graduate/economics#policy>



《現代経済専攻》

本研究科前期博士課程には、後期博士課程への進学あるいは長年の職業体験やライフワークの学問的成果への結実を目指して修士論文作成を目標とする「一般コース」と、現代経済に関する精深な知識を獲得して社会の諸分野で活躍する人材養成を目標とする「修士専修コース」が置かれています。後期博士課程へ進学を希望する場合は、一般コースを受験してください。

※2022年4月開学予定の大阪公立大学(仮称)大学院経済学研究科では、「一般コース」は「博士コース(前期)」、「修士専修コース」は「修士コース」に名称変更の予定です。合格し、入学する場合、研究生室は、杉本キャンパスに配属される予定です。

○ 一般コース

8月26日(木)		8月27日(金)
10:50~11:50	13:00~14:30	13:30~
筆答試験	筆答試験	口述試験
英 語 (200点)	専門科目 (300点) 経済理論1(政治経済学1) 経済理論2(政治経済学2) 経済理論3(近代経済学1) 経済理論4(近代経済学2) 計量経済学 経済史 経済政策 国際経済	研究計画書等について 日本語により行う。 (1人当たり約15分)
辞書1冊の持ち込み可。ただし、経済用語辞典、電子辞書等は不可。 TOEIC、TOEFLによる代替可。 (注3参照)	上記の8問の中から1問を試験場で選択。ただし、研究計画の内容に近い分野の科目を選択することが望ましい。希望する研究指導教員と事前によく相談すること。	

注1 口述試験は、8月26日(木)の筆答試験の結果により、指定した者についてのみ行います。

該当者は、8月27日(金)13:00に試験会場で発表します。

2 事前相談の教員連絡先は下記サイトを参照してください。

教員にメールを送る場合は、件名に「大学院選抜試験の事前相談」と記載してください。

[URL] <https://www.econ.osaka-cu.ac.jp/ja/staff/>

3 筆答試験「英語」の代わりに、英語を母国語としない出願者のみ、2019年1月以降に受験したTOEIC Listening & Reading Testまたは2019年7月以降に受験したTOEFL-iBTの成績を提出することができます。希望者は出願書類に成績証明書(原本)を同封してください。

TOEIC Listening & Reading TestもしくはTOEFL-iBTの成績を提出した上で、筆答試験「英語」を受験することもできます。その場合は両方の成績を比較した上で、出願者に有利と判断される方を筆答試験「英語」の成績とします。

- ・成績証明書(原本)とは、TOEIC Listening & Reading Test の場合は「TOEIC Listening & Reading OFFICIAL SCORE CERTIFICATE(公式認定証)^{※1}」を、TOEFL-iBT の場合は「Test Taker Score Report^{※2}」を指します。
- ・成績証明書は出願期間内に提出できるものに限ります(差し替えは認めません)。
- ・成績証明書の複数提出は不可です。
- ・成績証明書は返却しません。
- ・団体向けテスト(TOEIC IP テスト、TOEFL-ITP)の成績証明書は無効です。

※1 前記期限内の公式認定証であれば「OFFICIAL SCORE CERTIFICATE」でも問題ありません。

※2 前記期限内の公式スコアであれば「Examinee Score Report」でも問題ありません。

願書記入上の注意

- ① 「研究指導教員名」欄に、研究指導を希望する教員の氏名を記入してください。
- ② 「志望専門分野名」欄に、研究指導を希望する教員の担当授業科目を記入してください。
(「大学院の概要」[<https://www.osaka-cu.ac.jp/ja/admissions/graduate/7rcubm>]参照)
- ③ 願書送付用封筒の表面、コース記入欄に「一般」と記入してください。

○ 修士専修コース

8月26日(木)	8月27日(金)
13:00~14:30	13:30~
筆答試験	口述試験
<p>専門科目(250点) 経済理論1(政治経済学1) 経済理論2(政治経済学2) 経済理論3(近代経済学1) 経済理論4(近代経済学2) 計量経済学 経済史 経済政策 国際経済</p> <p>上記の8問の中から1問を試験場で選択。ただし、研究計画の内容に近い分野の科目を選択することが望ましい。希望する研究指導教員と事前によく相談すること。</p>	<p>研究計画書等について日本語により行う。 (1人当たり約15分)</p>

注1 口述試験は、8月26日(木)の筆答試験の結果により、指定した者についてのみ行います。

該当者は、8月27日(金)13:00に試験会場で発表します。

2 事前相談の教員連絡先は下記サイトを参照してください。

教員にメールを送る場合は、件名に「大学院選抜試験の事前相談」と記載してください。

[URL] <https://www.econ.osaka-cu.ac.jp/ja/staff/>

願書記入上の注意

- ① 「研究指導教員名」欄に、研究指導を希望する教員の氏名を記入してください。
- ② 「志望専門分野名」欄に、研究指導を希望する教員の担当授業科目を記入してください。
(「大学院の概要」[<https://www.osaka-cu.ac.jp/ja/admissions/graduate/7rcubm>]参照)
- ③ 願書送付用封筒の表面、コース記入欄に「修士専修」と記入してください。

【一般コースのみ対象】

経済学研究科では、「大阪市立大学大学院経済学研究科研究助成・奨励会 奨学金」の制度が設けられており、各年度の合格者の中から成績の優秀な者1名に対して、入学科に相当する額の奨学金を支給することがあります。詳しくは、学生サポートセンター経済学研究科教務担当へお問い合わせください。

● 法 学 研 究 科

入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

- 1 法学的・政治学的問題に豊かな関心を持ち、解決策を模索する強い意志を持つ人
 - 2 実務経験の中で生じる問題を、法学的・政治学的観点から考察しようとする意志を持つ人
 - 3 法学・政治学の高度の研究を遂行するために不可欠な基礎的知識を持つ人
 - 4 自己の見解を論理的に構築・展開して、相手に説明し正当化する能力を持つ人
- ※ ディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシーは以下をご参照ください。

<https://www.osaka-cu.ac.jp/ja/academics/graduate/law#policy>



《法学政治学専攻》

2022 年度より、法学・政治学の研究者の養成を念頭に後期博士課程への進学を目指す「理論研究プログラム」と、法学・政治学に関する特定の課題について探求し高度職業人養成を行う「課題展開プログラム」を設置します。両プログラムでは、修了要件や後期博士課程進学の際に課せられる科目数等に違いがあります。志望する進路等を勘案して、いずれかのプログラムを選択して出願してください（併願はできません）。なお、課題展開プログラムに出願する場合は、研究指導教員への事前相談は不要です（ただし、次の①又は②に該当する者は事前相談が必要です。①任意で論文を提出する者、②10 ページの表 A 欄で * マークのある分野を志望する者）。

○ 理論研究プログラム

9 月 1 日 (水)		
9 : 00 ~ 12 : 10	13 : 00 ~ 14 : 30	15 : 00 ~
筆答試験 (専門科目)	筆答試験 (外国語)	口述試験
10 ページの表 B 欄の専門科目から、 2 科目 を選択 ※そのうち 1 科目は、志望する専攻分野（表 A 欄）に対応した専門科目（表 B 欄）を選択すること。 (各科目 90 分 100 点 合計 200 点)	志望する専攻分野（10 ページの表 A 欄）に対応する外国語科目（表 C 欄）から 1 か国語 を選択 (100 点)	研究計画書及び筆答試験について行う。 (合否で判定する)
提出された論文（希望者のみ）及び学業成績の水準が極めて高い場合は、筆答試験（専門科目・外国語）の一部又は全部を免除することがあります。		

- 注 1** 実際の口述試験の開始時刻は、当日試験場本部前に掲示します。
- 2** 専門試験科目の筆答試験については、「六法」1冊を貸与します。
- 3** 外国語科目の筆答試験については、辞書1冊の持ち込みを可とします（ただし、電子辞書は不可）。
- 4** 筆答試験の免除結果は、8月12日（木）に本研究科のWebサイト（<http://www.law.osaka-cu.ac.jp>）で発表します。電話等での照会には一切応じません。

願書記入上の注意

- ① 志望専門分野名欄の1に、理論研究プログラムと記入してください。
- ② 志望専門分野名欄の2に、「大学院において専攻する分野」を10ページの表A欄から選択して記入してください。
- ③ 受験科目欄「専門」には、受験する専門科目名を2科目記入してください。専門1欄に記入した科目を9:00~10:30に解答し、専門2欄に記入した科目を10:40~12:10に解答します。（10:30~10:40は解答用紙回収と問題配布の時間であり、休憩ではありません。）
- ④ 受験科目欄「外国語」には、受験する外国語科目名を記入してください。
- ⑤ 研究指導教員名は、事前相談をおこなったうえで、記入してください。

○ 課題展開プログラム

9月1日(水)	
10:40~12:10	13:00~
筆答試験 (専門科目)	口述試験
志望する専攻分野(同ページの表A欄)に対応する 専門科目(表B欄) 1科目 を選択 (100点)	研究計画書及び筆答試験に ついて行う。 (合否で判定する)
提出された論文(希望者のみ)又は学業成績の水準が極めて高い 場合は、筆答試験(専門科目)を免除することがあります。	

注1 実際の口述試験の開始時刻は、当日試験場本部前に掲示します。

2 専門試験科目の筆答試験については、「六法」1冊を貸与します。

3 筆答試験の免除結果は、8月12日(木)に本研究科のWebサイト(<http://www.law.osaka-cu.ac.jp>)
で発表します。電話等での照会には一切応じません。

願書記入上の注意

- ① 志望専門分野名欄の1に、課題展開プログラムと記入してください。
- ② 志望専門分野名欄の2に、「大学院において専攻する分野」を以下の表A欄から
選択して記入してください。
- ③ 受験科目欄「専門」には、受験する専門科目名を記入してください。
- ④ 研究指導教員名は、記入不要です。

大学院で専攻する分野 (A欄)	筆答試験専門科目 (B欄)	指定する外国語 (C欄)
法社会学	法社会学	英語, ドイツ語, フランス語, 中国語
日本法制史	日本法制史	
英米法	英米法	英語
ドイツ法	ドイツ法	ドイツ語
*アジア法(中国法)	アジア法(中国法)	中国語
憲法	憲法	英語, ドイツ語, フランス語
行政法	行政法	
刑法	刑法	英語, ドイツ語, フランス語, 中国語
	刑事政策	
刑事訴訟法	刑事訴訟法	
民法	民法	英語, ドイツ語, フランス語
商法	商法(商法総則・会社法)	英語, ドイツ語, フランス語, 中国語
民事訴訟法	民事訴訟法	英語, ドイツ語, フランス語
倒産法	倒産法	
労働法	労働法	英語, ドイツ語, フランス語, 中国語
社会保障法	社会保障法	
経済法	経済法	英語, ドイツ語, フランス語
国際法	国際法	英語
国際組織法	国際法	英語, ドイツ語, フランス語, 中国語
国際私法	国際私法	
政治学史	政治学史	英語, ドイツ語, フランス語
比較政治学	比較政治学	英語
欧州政治外交史	欧州政治外交史	英語, ドイツ語, フランス語
国際政治	国際政治	
行政学	行政学	

● 文 学 研 究 科

入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

（求める学生像）

人文科学・行動科学の専門領域に関する明確な問題意識と専門的知識を有する人
社会的経験をふまえて人文科学・行動科学の専門領域の研究を志す人

（入学者選抜の基本方針）

筆答試験では外国語の読解力・表現力と専門科目の習得度を、口述試験では提出された卒業論文や研究計画書等の達成度や的確性を確認し、学士課程における成績とあわせて総合的に評価します。

※ ディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシーは以下をご参照ください。

<https://www.osaka-cu.ac.jp/ja/academics/graduate/literature#policy>



《哲学歴史学専攻》

日時等	9月1日（水）		9月2日（木）
	10：30～12：00	13：30～16：30	13：30～
	筆答試験		筆答試験
専門分野	外国語（100点）	専門科目（200点） （出題分野）	口述試験 （100点）
哲 学	英語、ドイツ語、フランス語から 1か国語 を選択	哲学概論・西洋哲学史	専門分野別に、筆答試験及び提出された論文等について行います（1人当たり約30分）。
日本史学	英語、ドイツ語、フランス語、中国語、ロシア語、韓国・朝鮮語から 1か国語 を選択	日 本 史 学	
東洋史学	英語、ドイツ語、フランス語、中国語、ロシア語、韓国・朝鮮語から 1か国語 を選択	東 洋 史 学	
西洋史学	英語、ドイツ語、フランス語、ロシア語から 1か国語 を選択	西 洋 史 学	

※ 各専門分野とも、専門科目の一部として、外国語読解能力を問う問題が出題されることがあります。

願書記入上の注意

「文学研究科入学願書の記入例・注意事項」を参照してください。

なお、出願時に選択した受験科目は、試験当日変更することはできません。

《人間行動学専攻》

日時等	9月1日（水）		9月2日（木）
	10：30～12：00	13：30～16：30	13：30～
	筆答試験		筆答試験
専門分野	外国語（100点）	専門科目（200点） （出題分野）	口述試験 （100点）
社会学	英語、ドイツ語、フランス語、中国語、ロシア語、韓国・朝鮮語から 1か国語 を選択	社会学概論・社会学研究法（調査法を含む）	専門分野別に、筆答試験及び提出された論文等について行います（1人当たり約30分）。
心理学	英 語	心理学概論・心理学研究法	
教育学	英 語	教育学概論・教育方法学	
地理学	英 語	地 理 学	

※ 各専門分野とも、専門科目の一部として、外国語読解能力を問う問題が出題されることがあります。

願書記入上の注意

「文学研究科入学願書の記入例・注意事項」を参照してください。

なお、出願時に選択した受験科目は、試験当日変更することはできません。

《言語文化学専攻》

日時等 専門分野	9月1日(水)		9月2日(木)
	10:30~12:00	13:30~16:30	13:30~
	筆答試験	筆答試験	口述試験 (100点)
	外国語(100点)	専門科目(200点) (出題分野)	
国語国文学	英語、ドイツ語、フランス語、 中国語、ロシア語、韓国・朝 鮮語から 1か国語 を選択	国文学・国語学	専門分野別に、筆 答試験及び提出 された論文等に ついて行います (1人当たり約 30分)。
中国語中国文学	中国語	中国文学・中国語学・中国語文化学	
英語英米文学	英語	英米文学・英語学・英米文化学	
ドイツ語 フランス語圏 言語文化学	ドイツ語、フランス語、英語、 ロシア語から 1か国語 を選択	ドイツ語圏文学・ドイツ語学・ド イツ語圏文化学 フランス語圏文学・フランス語 学・フランス語圏文化学 (注)	
言語応用学	英語	言語応用学 (言語理論・言語応用論・言語比 較論・言語教育論等)	

※ 各専門分野とも、専門科目の一部として、外国語読解能力を問う問題が出題されることがあります。

注 ドイツ語圏言語文化学を主として専攻する場合はドイツ語圏文学・ドイツ語学・ドイツ語圏文化を、フランス語圏言語文化学を専攻する場合はフランス語圏文学・フランス語学・フランス語圏文化学を選択すること。

願書記入上の注意

「文学研究科入学願書の記入例・注意事項」を参照してください。
なお、出願時に選択した受験科目は、試験当日変更することはできません。

《文化構想学専攻》

日時等 専門分野	9月1日(水)		9月2日(木)
	10:30~12:00	13:30~16:30	13:30~
	筆答試験	筆答試験	口述試験 (100点)
	外国語(100点)	専門科目(200点) (出題分野)	
表現文化学	英語、ドイツ語、フラン ス語、中国語、ロシア語、 韓国・朝鮮語から 1か国 語を選択	表現文化学 (文化理論、表象文化論、比較表 現論、ポピュラー文化論等)	専門分野別に、筆答 試験及び提出され た論文等について行 います(1人当たり約 30分)。
アジア文化学	英語、中国語、韓国・朝 鮮語から 1か国語 を選択	アジア文化学 (アジア地域研究、アジア文化 研究に関する基礎的問題)	
文化資源学	英語、ドイツ語、フラン ス語、中国語、ロシア語、 韓国・朝鮮語から 1か国 語を選択	文化資源学 (芸術文化、観光文化、国際文化、 文化を活用した社会実践等に 関する問題)	

※ 各専門分野とも、専門科目の一部として、外国語読解能力を問う問題が出題されることがあります。

願書記入上の注意

「文学研究科入学願書の記入例・注意事項」を参照してください。
なお、出願時に選択した受験科目は、試験当日変更することはできません。

● 理 学 研 究 科

入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

自然科学における専門分野の基礎学力を有し、自然の摂理を解明・理解し、基礎科学的、学際的、あるいは応用的観点から研究を推進することを目指す人を求めます。

※ ディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシー及び専攻ごとのアドミッション・ポリシーは以下をご参照ください。

<https://www.osaka-cu.ac.jp/ja/academics/graduate/science#policy>



《数物系専攻》

9月1日（水）			9月2日（木）
9：30～12：00	13：00～15：30	16：00～17：20	10：00～
筆答試験	筆答試験	筆答試験	口述試験
基礎的分野	専門分野	英 語	専門科目、卒業研究等
数学又は物理学	数学又は物理学		

注 筆答試験の結果により、指定された者についてのみ口述試験を行います。該当者は、9月2日（木）9：30に試験会場で発表します。

願書記入上の注意

- ① 「志望専門分野名」欄の1～3に、次の専門分野から一分野ずつ選んで志望する順に講座番号と専門分野を記入してください。専門分野が未定の場合は講座番号のみを記入してください（専門分野の研究内容については、「大学院の概要」〔<https://www.osaka-cu.ac.jp/ja/admissions/graduate/7rcubm>〕を参照してください）。

講座番号	講 座 名	専 門 分 野
A 1	数 理 構 造 論	代数系、表現論、多様体論、位相幾何学
A 2	数 理 解 析 学	確率論、応用数学、偏微分方程式論、微分幾何学、実解析学・複素解析学
A 3	基 礎 物 理 学 (理 論)	素粒子論、原子核理論、宇宙物理、数理物理
A 4	宇宙・高エネルギー 物理学（実験）	宇宙線物理学、高エネルギー物理学、宇宙・素粒子実験物理学、重力波実験物理学
A 5	物 性 物 理 学	超低温物理学(実験)、光物性物理学(実験)、生体・構造物性物理学(実験)、素励起物理学(理論)、電子相関物理学(理論)、レーザー量子物理学(実験)

- ② 「受験科目」欄には記入する必要はありません。
 ③ 「研究指導教員名」欄には、事前相談をおこなった教員名（複数可）を記入してください。

《物質分子系専攻》

9月1日（水）		9月2日（木）
9：30～12：00	13：00～15：00	10：00～
筆答試験	筆答試験	口述試験
基礎的分野	専門分野	専門科目、研究意欲、研究の意義等
化学	化学	

※ 外国語（英語）の能力は、TOEIC Listening & Reading Test のスコアにより評価します。

願書記入上の注意

- ① 「志望専門分野名」欄、「受験科目」欄には記入する必要はありません。
 ② 「研究指導教員名」欄には、事前相談をおこなった教員名（複数可）を記入してください。

《生物地球系専攻》

9月1日(水)	9月2日(木)
13:00~15:00	10:00~
筆答試験	口述試験
専門科目 生物学又は地球科学	専門科目、卒業研究等

※ 外国語(英語)の能力は、TOEIC Listening & Reading Test のスコアにより評価します。

願書記入上の注意

- ① 「志望専門分野名」欄の1~3に、次の専門分野から一分野ずつ選んで志望する順に講座番号と専門分野を記入してください(専門分野の研究内容については、「大学院の概要」[<https://www.osaka-cu.ac.jp/ja/admissions/graduate/7rcubm>]を参照してください)。

講座番号	講座名	専門分野
C 1	生物分子機能学	代謝調節機能学、生体低分子機能学、生体高分子機能学
C 2	生体機能生物学	動物機能生物学、植物機能生物学、細胞機能学
C 3	自然誌機能生物学	動物機能生態学、植物機能生態学、情報生物学、植物進化適応学
C 4	環境地球学	人類紀自然学、都市地盤構造学、地球情報学
C 5	地球物質進化学	地球物質学、岩石学、地球史学

- ② 「受験科目」欄には記入する必要はありません。
 ③ 「研究指導教員名」欄には、事前相談をおこなった教員名(複数可)を記入してください。

理学研究科では国際的な教育研究機能強化の一環として諸外国の留学生をより多く受け入れるため、前期博士課程において英語のみで授業・研究指導を受けられる体制を導入しています。つきましては本学に入学し履修された科目が英語の授業である場合があります。

● 工 学 研 究 科

入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

工学研究科は、持続可能な社会を実現するために、「社会に対する強い責任感と高い倫理性」、「創造的に技術を革新しようとする志」、「旺盛な向学心」を有する優れた学生を広く国内外から受け入れます。

具体的には、以下のいずれかあるいは複数の素養や能力を持った人を求めます。

- (1) 工学の分野において専門性を志向しつつ、さらに高度な工学領域の知識と技術を広く習得する素養
- (2) 工学以外の分野で基礎を学び、それを工学の分野で活かすために必要な素養
- (3) 修士論文の作成に求められる研究力の習得に必要な論理的思考力、デザイン力、コミュニケーション力

※ ディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシー及び専攻ごとのアドミッション・ポリシー、入学者選抜の基本方針については、以下をご参照ください。

<https://www.osaka-cu.ac.jp/ja/academics/graduate/engineering#policy>



《機械物理系専攻》

8月24日（火）		8月25日（水）
10：00～12：00	13：30～16：30	10：00～
筆答試験	筆答試験	口述試験
基礎科目	専門科目	
基礎数学、一般力学 (各科目 100 点、合計 200 点)	材料力学、熱力学、流体力学、機械力学、 制御工学、材料工学の中から 3 科目選択 (各選択科目 100 点、合計 300 点)	志願する専門分野について行います。(50 点)

※ 外国語(英語)の能力は、TOEIC のスコアにより評価します (200 点)。

※ 受験しない試験がある場合には不合格となります。

※ 各試験科目の出題範囲キーワード

1. 基礎科目

基礎数学：線形代数(行列式、基底、固有値)、微積分(極値問題、陰関数の定理・逆関数の定理、多重積分・累次積分、曲面の面積)

一般力学：質点の力学、質点系の力学、剛体の力学

2. 専門科目

材料力学：応力とひずみ、引張りと圧縮、熱応力、はりの曲げ、ねじり、組み合わせ応力、ひずみエネルギー

熱力学：熱力学第1法則および第2法則、熱力学の一般関係式、理想気体、ガスサイクル、蒸気サイクル

流体力学：静水圧、連続の式、ベルヌーイの定理、運動量の法則、管路内の流れ、完全流体の流れ、粘性流れの基礎

機械力学：1自由度系の振動、多自由度系の振動

制御工学：連続系、離散系、伝達関数、時間応答、周波数応答、安定判別、位相補償、PID制御

材料工学：化学結合、組織と機械的性質、状態図、熱処理

願書記入上の注意

① 「志望専門分野名」欄の1～3に、「大学院の概要」

[<https://www.osaka-cu.ac.jp/ja/admissions/graduate/7rcubm>] に記載された専門分野番号と専門分野名を志望する順に記入してください。

② 「受験科目」欄は記入不要です。

③ 志望する専門分野名と専門科目で選択する科目の対応は問いません。

④ 教員の受入可能学生数から、志望する専門分野で合格できないことがあります。

⑤ 「研究指導教員名」欄は、事前相談を行ったうえで記入してください。

《電子情報系専攻》

科目 類	8月24日(火)		8月25日(水)
	9:00~12:00	13:30~16:30	13:00~
	筆答試験		口述試験
	基礎科目(200点)	専門科目(200点)	(50点)
第1類(電子物理系) パワーエレクトロニクス プラズマ工学 光物性工学 表面機能工学 波動物理学 応用分光計測学 ナノマテリアル工学 数理工学	電磁気学(第1類)、 電気回路学(第1類)、統計力学、応用数学から3科目選択	固体物理学、半導体工学、量子力学、量子統計力学、電子回路学から2科目選択	志望する専門分野について行います。 (1人当たり約10分)
第2類(電気情報系) 光電子工学 スマートセンシング工学 スマートエネルギー工学 電気情報システム工学 情報処理工学 知識情報処理工学 マルチメディア工学 通信基盤工学 通信システム工学 システム制御工学 分散システム工学 情報基盤工学 知識情報システム工学 空間情報システム工学	電磁気学(第2類)、 電気回路学(第2類)、解析、線形代数、確率統計すべてを解答	電気情報Ⅰ、電気情報Ⅱの両方を解答。それぞれ、エレクトロニクス、情報通信、情報処理に関する問題	

※ 外国語(英語)の能力は、TOEICのスコアにより評価します(100点)。

※ 一定の基準を満たさない科目がある場合に不合格となることがあります。

願書記入上の注意

- ① 「志望専門分野名」欄の1~3に、「大学院の概要」
[<https://www.osaka-cu.ac.jp/ja/admissions/graduate/7rcubm>]に記載された専門分野番号と専門分野名を志望する順に記入してください。類が異なる専門分野を同時に志望することはできません。
- ② 受験科目欄の「基礎」欄1と「専門」欄1のそれぞれに志望する専門分野が属する類、すなわち、第1類又は第2類と記入してください。「基礎」欄、「専門」欄及び出願封筒の「コース・専門分野」欄にも同じ類を記入してください。
- ③ 教員の受入可能学生数から、志望する専門分野で合格できないことがあります。
- ④ 「研究指導教員名」欄は、事前相談を行ったうえで記入してください。

《化学生物系専攻》

8月24日(火)	8月25日(水)
13:30~17:00	13:00~
筆答試験	口述試験
無機化学・物理化学(4問)、有機化学(3問)、 生化学(3問)、細胞生物学(3問)、高分子化学 (1問)の計14問から7問を選択。 (350点)	化学あるいは生物化学について行います。 (1人当たり約10分) (100点)

※ 外国語(英語)の能力は、TOEICのスコアにより評価します(150点)。

※ 受験しない試験がある場合には不合格となります。

願書記入上の注意

- ① 「志望専門分野名」欄の1、2に、「大学院の概要」
[<https://www.osaka-cu.ac.jp/ja/admissions/graduate/7rcubm>]に記載された専門分野番号と専門分野名を志望する順に記入してください。なお、必ずしも志望する専門分野に受け入れられるとは限りません。
- ② 「受験科目」欄は記入不要です。
- ③ 「研究指導教員名」欄は、事前相談を行ったうえで記入してください。

《都市系専攻》

8月24日(火)		8月25日(水)																																
9:00~12:00	13:30~16:30	13:00~																																
筆答試験	筆答試験	口述試験																																
基礎科目	専門科目																																	
下記の2科目から1つを選択(200点)。 ●建築学基礎 ●都市学基礎	下記の15科目から志望する専門分野番号に対応する1科目を選択(300点)。 <table border="1"> <thead> <tr> <th>専門分野番号</th> <th>科目名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td>建築計画・建築構法</td></tr> <tr><td>2</td><td>建築デザイン・建築史</td></tr> <tr><td>3</td><td>都市計画</td></tr> <tr><td>4</td><td>都市基盤計画</td></tr> <tr><td>5</td><td>建築環境工学</td></tr> <tr><td>6</td><td>建築情報学</td></tr> <tr><td>7</td><td>地域環境計画</td></tr> <tr><td>8</td><td>環境生態工学</td></tr> <tr><td>9</td><td>水処理工学・廃棄物処理工学</td></tr> <tr><td>10</td><td>建築防災・風工学</td></tr> <tr><td>11</td><td>建築構造学</td></tr> <tr><td>12</td><td>構造工学・橋梁工学</td></tr> <tr><td>13</td><td>地盤工学</td></tr> <tr><td>14</td><td>河川・海岸・水工学</td></tr> <tr><td>15</td><td>空間情報学</td></tr> </tbody> </table>	専門分野番号	科目名	1	建築計画・建築構法	2	建築デザイン・建築史	3	都市計画	4	都市基盤計画	5	建築環境工学	6	建築情報学	7	地域環境計画	8	環境生態工学	9	水処理工学・廃棄物処理工学	10	建築防災・風工学	11	建築構造学	12	構造工学・橋梁工学	13	地盤工学	14	河川・海岸・水工学	15	空間情報学	志望する専門分野の指示にしたがって、卒業研究の概要(A4用紙1枚:コピー10部)又は、設計演習等の成果物を持参すること。 口述試験は上記をもとに行います(100点)。 (1人当たり約10分)
専門分野番号	科目名																																	
1	建築計画・建築構法																																	
2	建築デザイン・建築史																																	
3	都市計画																																	
4	都市基盤計画																																	
5	建築環境工学																																	
6	建築情報学																																	
7	地域環境計画																																	
8	環境生態工学																																	
9	水処理工学・廃棄物処理工学																																	
10	建築防災・風工学																																	
11	建築構造学																																	
12	構造工学・橋梁工学																																	
13	地盤工学																																	
14	河川・海岸・水工学																																	
15	空間情報学																																	

※ 外国語(英語)の能力は、TOEICのスコアにより評価します(100点)。また筆答試験と口述試験には一定の合格基準を設けています。

※ 建築学基礎: 建築計画・建築構法、建築デザイン・建築史、建築環境工学、建築構造学、建築材料学に関する問題を出題します。

※ 都市学基礎: 都市学科で提供している都市史、計画論、都市計画、環境計測学、都市エネルギー工学、環境生態学、構造力学Ⅰ、土質力学Ⅰ、水理学の計9問から5問を選択。

願書記入上の注意

- ① 「志望専門分野名」欄の1、2(第一志望のみの者は1のみ)に、「大学院の概要」
[<https://www.osaka-cu.ac.jp/ja/admissions/graduate/7rcubm>]に記載された専門分野番号と専門分野名を志望する順に記入してください。専門分野ごとの指導学生数の上限を設けています。詳細は「大学院の概要」
[<https://www.osaka-cu.ac.jp/ja/admissions/graduate/7rcubm>]を参照してください。
- ② 受験科目欄「基礎」に選択する基礎科目を一つ記入してください。
- ③ 受験科目欄「専門」に第一志望の専門分野番号に対応する専門科目を1科目のみ選択して記入してください。
- ④ 「研究指導教員名」欄は、事前相談を行ったうえで記入してください。

5年一貫制博士学位プログラム

工学研究科では、大学院入学者を対象とした5年一貫制の博士課程教育リーディングプログラム(システム発想型学際科学リーダー養成学位プログラム)が別途提供されています。

詳細はこちら(<https://sims-program.osakafu-u.ac.jp/>)をご参照ください。

● 生活科学研究科

入学者受入れの方針 (アドミッション・ポリシー)

アドミッション・ポリシー、ディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシーは以下をご参照ください。

<https://www.osaka-cu.ac.jp/ja/academics/graduate/humanlife#policy>



出願しようとする者は、「大学院の概要」[<https://www.osaka-cu.ac.jp/ja/admissions/graduate/7rcubm>]を参照の上、志望する専門科目の教員に原則として出願期間初日までに必ず相談してください。志望専門科目の担当教員連絡先は、学生サポートセンター生活科学研究科教務担当(裏表紙参照)にお問い合わせください。

《生活科学専攻》

日時等 履修 コース名	8月24日(火)			8月25日(水)
	10:00~11:30	12:30~14:00	14:30~16:00	10:00~
	筆答試験			口述試験
	<専門>	<英語>	<基礎>	
食・健康科学	志望する専門科目を 1科目選択 食品機能化学 栄養医科学 公衆栄養学 生体情報学 環境健康科学 微生物学 病態栄養学 臨床栄養学 生化学 食品衛生科学 生体機能学 応用栄養学 給食栄養管理学	英語	次の4科目から 1科目選択 化学 生化学 解剖生理学 生物学	志望する専門について行います。 (1人当たり約10分)
居住環境学	志望する専門科目を 1科目選択 住生活学 居住文化史 居住空間意匠学 住居人類学 居住環境工学 建築設備 建築計画学 人間工学 居住空間構造学 都市計画学 居住システム学 居住安全工学	英語 TOEICによる 代替可 (注参照)	次の1科目必須 建築基礎 (建築作品・建築史、住居計画、建築計画、都市計画、環境工学、構造に関する問題 30問中20問選択)	志望する専門について行います。 (1人当たり約10分)

総合福祉科学	志望する専門科目を 1科目選択 社会福祉学 福祉政策学 社会開発学 福祉システム学 教育臨床学 地域福祉学 家族社会学 社会政策学 先端ケア学	英語	次の 2科目 必須 福祉基礎 1 福祉基礎 2 (社会学・心理学・ 教育学・経済学・ 社会福祉学に関する 問題)	志望する専門について 行います。 (1人当たり約10分)
臨床心理学	志望する専門科目を 1科目選択 発達臨床心理学 周産期家族臨床学	英語	次の 1科目 必須 心理学	志望する専門について 行います。 (1人当たり約10分) ◎口述試験は24日(火) の筆答試験の結果によ り指定した者のみ行い ます。該当者は25日 (水)9:00に生活科学部 棟および本学Webサイ ト(入試情報>合格者発 表)で発表します。

※ 合否判定は、各科目 100 点満点の 4 割以上かつ全科目合計点 6 割以上の者の中から、口述試験を含めて総合的に行います。

- 注 居住環境学コースのみ**、筆答試験「英語」の代わりに 2019 年 7 月 1 日以降に受験した TOEIC Listening & Reading Test のスコアを提出することができます。スコアを 100 点満点に換算した点数を筆答試験「英語」の成績とし、合否判定を行います。希望者は**出願書類に TOEIC 公式認定証(原本)を同封してください。**
- ・ TOEIC 公式認定証(原本)を提出した上で筆答試験「英語」を受験することもできます。その場合は両方の成績を比較した上で、出願者に有利と判断される方を「英語」の成績とします。
 - ・ 団体特別受験制度(IP テスト)のスコアは無効です。
 - ・ TOEIC 公式認定証は出願期間内に提出できるものに限り(差し替えは認めません)。また、提出された TOEIC 公式認定証は返却しません。

願書記入上の注意

次の共通①～③および各コースの④⑤に従って記入してください。

【コース共通】

- ① 「志望専攻名」欄に生活科学と記入してください。
- ② 「志望専門分野名」欄の1に志望する履修コース名を、2に希望する指導教員の専門科目を記入してください。
 ※ 各教員の専門科目は「大学院の概要」[<https://www.osaka-cu.ac.jp/ja/admissions/graduate/7rcubm>]を参照してください。
- ③ 受験科目「専門」欄の1に筆答試験<専門>欄より上記②と同じ専門科目を記入してください。

【食・健康科学コース】

- ④ 受験科目「基礎」欄の1に、食・健康科学コース<基礎>から1科目を選んで記入してください。
- ⑤ 受験科目「外国語」欄には記入する必要がありません。

【居住環境学コース】

- ④ 受験科目「基礎」欄には記入する必要がありません。
- ⑤ TOEIC 公式認定証を提出する場合、受験科目「外国語」欄の1に「TOEIC 提出」と記入してください。

【総合福祉科学コース】

- ④ 受験科目「基礎」欄には記入する必要がありません。
- ⑤ 受験科目「外国語」欄には記入する必要がありません。

【臨床心理学コース】

- ④ 受験科目「基礎」欄には記入する必要がありません。
- ⑤ 受験科目「外国語」欄には記入する必要がありません。

7 受験上・修学上の配慮を希望する者の出願

障がい等を有する等の理由により、本学の受験上・修学上の配慮を希望する者は、2021年7月1日(木)までに、志願する各研究科教務担当に申し出て相談してください。

なお、2021年7月2日(金)以降においても、可能な限り対応いたしますが、できる限り7月1日(木)までに申し出てください。

8 合格者発表等

(1) 合格者発表

掲示・Webサイトにより合格者の発表を行います。

研究科	日時(掲示・Webサイト掲載期間)	場所(掲示)
経営学研究科	9月14日(火) 10:00 ~ 9月21日(火) 17:00	各研究科の 指定する場所
経済学研究科	9月10日(金) 10:00 ~ 9月16日(木) 17:00	
法学研究科	9月14日(火) 10:00 ~ 9月21日(火) 17:00	
文学研究科	9月17日(金) 10:00 ~ 9月23日(木) 17:00	
理学研究科	9月16日(木) 10:00 ~ 9月22日(水) 17:00	
工学研究科	9月15日(水) 10:00 ~ 9月21日(火) 17:00	
生活科学研究科	9月14日(火) 10:00 ~ 9月21日(火) 17:00	

Webサイトでの合格者発表

本学Webサイト(<https://www.osaka-cu.ac.jp/ja/admissions/announcement>)に、合格者受験番号の一覧を掲載します。なお、いずれの発表方法についても電話等による合否の照会には一切応じません。

また、「合格者受験番号一覧表」の送付を希望する者は、受験票送付時に同封されている「受験上の注意」で案内しますので、確認してください。

(2) 合格通知書

各研究科の指定する日時・場所において、「合格通知書」等の書類をお渡しします。その際には「受験票」の提示が必要です。なお、合格者本人による書類の受け取りができない場合は、事前に学生サポートセンター各研究科教務担当へ連絡してください。

経済学研究科・文学研究科に合格した者には、合格者発表の初日に、「合格通知書」等の書類を発送します(手渡しでの書類交付はありません)。

9 入学手続

2021年9月29日(水) 時間・場所等の詳細については、別途合格者に通知します。

なお、入学手続時まで、入学料の納付が必要となります。

10 学 費

大阪市立大学は、大阪公立大学(仮称)の2022年4月開学に向けて設置認可申請中です。なお、2022年度入学者の金額は次のとおり予定しています。

入学料	納付区分	「大阪府民及びその子」注	282,000円
		「その他の者」	382,000円
授業料	年間	535,800円	

なお、在学中に授業料の改定が行われた場合には、改定後の金額が適用されます。

注 「大阪府民及びその子」は、次の対象者が所定の手続きを行い、認定された場合に適用されます。

対象者：入学者本人もしくは入学者本人と同一戸籍にある父又は母が、入学日の1年以上前(2022年4月入学者の場合、2021年4月1日以前)から引き続き大阪府内に住民票がある者。日本国籍を有しない者も同一の要件です。

なお、手続きにおいて提出を求める「住民票(全員)」及び「戸籍抄本等の同一戸籍を証明する書類(必要者のみ)」については、入学手続日の属する月の1日以降に交付を受けたものとなります。

※ 入学料は、入学手続時までには納付する必要があります。また、既納の納付金は、還付いたしません(修学支援制度等により入学料の減免等が認められた場合は、減免額を返金します)。

経済支援制度については、本学Webサイトをご覧ください。

https://www.osaka-cu.ac.jp/ja/education/financial_aid(ホーム » 教育・学生生活 » 経済支援制度)

11 注意事項

- (1) 出願受理後の出願取消しは一切認めません。また、出願書類等に不備がある場合は、出願を受理できないことがあります。
 - (2) 選抜試験の結果に関する照会には応じません。
 - (3) 既納の入学検定料は次の事由以外では返還しません。
 - ①入学検定料を払い込んだが、出願しなかった場合
 - ②出願書類の不備等により受理されなかった場合
 - ③重複して入学検定料を払い込んだ場合
 - ④本学が定めた新型コロナウイルス関連にかかる入学検定料還付対象者に該当した場合
※該当者の詳細については、本学 Web サイトを確認してください。
<https://www.osaka-cu.ac.jp/ja/admissions>
- 注 ①から③についての返還の方法等は、出願期間最終日より 1 か月以内に入試課までお問い合わせください。
- (4) 入学願書に虚偽の記載をした場合、または入学試験において不正行為をしたことが判明した場合は、入学決定後であっても、許可を取り消すことがあります。
 - (5) 1 ページ「2 出願資格」(9)から(11)による出願者で、当該研究科の定めた資格要件を満たさなかった場合は、本試験に合格しても入学を許可しません。
 - (6) 本学では、出願・受験の過程において収集された個人情報について、入学試験・入学案内・入学手続関係・選抜方法研究・統計資料作成・本学での学生生活関連業務に関して必要とされる範囲で利用します。前述の業務以外で利用する場合は、必ず本人に了解を得た上で利用します。業務に必要な範囲で集められた個人情報を、第三者に提供することはありません。
 - (7) 本学では、「外国為替及び外国貿易法」に基づいて「大阪市立大学安全保障輸出管理規程」を定めて、物品の輸出及び技術の提供の観点から、厳格な審査を実施しています。規制事項に該当する場合は、希望する教育が受けられない場合や研究ができない場合がありますので、ご注意ください。
詳細については、本学 Web サイトの「安全保障輸出管理」をご覧ください。
https://www.osaka-cu.ac.jp/ja/research/promotion_office/export

過去の試験問題は、学生サポートセンター各研究科教務担当で閲覧できます。詳細は、学生サポートセンター各研究科教務担当にお問い合わせください(裏表紙参照)。

〈 外国人留学生特別選抜 〉

1 募集人員

研究科	専攻	入学定員	募集人員	研究科	専攻	入学定員	募集人員
経営学	グローバルビジネス	20	若干名	理学	数物系	31	若干名
経済学	現代経済	20	若干名		物質分子系	37	若干名
法学	法学政治学	15	若干名		生物地球系	29	若干名
文学	哲学歴史学	14	若干名	工学	機械物理系	36	若干名
	人間行動学	16	若干名		電子情報系	58	若干名
	言語文化学	18	若干名		化学生物系	36	若干名
	文化構想学	12	若干名		都市系	47	若干名
				生活科学	生活科学	53	若干名

・医学研究科、看護学研究科及び都市経営研究科の募集要項は、別途発行します。

- 注1 選抜試験の成績により、合格者数が募集人員に達しない場合があります。
- 注2 生活科学研究科については、同時期に推薦入学特別選抜があります。募集人員は上記入学定員に含みます。
- 注3 経済学研究科・法学研究科・文学研究科については、同時期に社会人を対象とした特別選抜があります。募集人員は上記入学定員に含みます。社会人特別選抜の概要については、45 ページ及び研究科ごとに発行している学生募集要項で確認してください（社会人特別選抜との併願は認めません）。
なお、社会人特別選抜の詳細については、学生サポートセンター各研究科教務担当にお問い合わせください。

2 出願資格

日本国籍を有しない者で、次の各号のいずれかに該当するもの。

- (1) 外国において、学校教育における 16 年の課程を修了した者及び 2022 年 3 月までに修了見込みの者
- (2) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における 16 年の課程を修了した者及び 2022 年 3 月までに修了見込みの者
- (3) 我が国において、外国の大学の課程(その修了者が当該外国の学校教育における 16 年の課程を修了したとされるものに限る。)を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者及び 2022 年 3 月までに修了見込みの者
- (4) 外国人留学生として日本の大学を卒業した者及び 2022 年 3 月までに卒業見込みの者、又は専修学校の専門課程で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者及び 2022 年 3 月までに修了見込みの者
- (5) 昭和 28 年文部省告示第 5 号をもって文部科学大臣の指定した者
- (6) 外国の大学その他の外国の学校(その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。)において、修業年限が 3 年以上である課程を修了すること(当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって出願資格(3)の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。)により、学士の学位に相当する学位を授与された者及び 2022 年 3 月までに授与される見込みの者
- (7) 外国人留学生として学校教育法第 102 条第 2 項の規定により大学院に入学した者であって、当該研究科において、大学院における教育を受けるにふさわしい学力があると認めたもの
- (8) 2022 年 3 月末で、外国人留学生として日本の大学に 3 年以上、又は外国において 4 年制大学に 3 年以上在学し、もしくは 15 年の課程を修了し、当該研究科において所定の単位を優れた成績をもって修得したものと認めた者
- (9) 当該研究科において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、2022 年 3 月 31 日現在において 22 歳以上のもの

- 注1 「2 出願資格」(4)の専修学校の専門課程は修業年限が 4 年以上であること、その他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。
- 注2 「2 出願資格」(6)により出願しようとする者は、2021 年 6 月 23 日(水)までに入試課までお問い合わせください。
- 注3 「2 出願資格」(7)から(9)により出願しようとする者は、出願資格の認定のため、「出願資格審査申請書」

などの提出を必要としますので、事前に学生サポートセンター各研究科教務担当に申し出の上、2021年7月1日(木)までに必ず学生サポートセンター各研究科教務担当に必要な書類を提出してください(〈出願資格審査〉44ページを参照してください)。

3 事前相談

出願しようとする者は、2021年7月1日(木)までに希望する研究指導教員に必ず相談しておいてください。事前相談がない場合、出願が認められない場合があります。研究指導教員の連絡先は学生サポートセンター各研究科教務担当にお問い合わせください(各研究科教務担当の電話番号等は、裏表紙にあります)。経営学研究科は、研究指導教員の事前相談は不要です。経済学研究科は、29ページ注2を参照してください。

4 出願書類等

本学所定の用紙(入学願書及び確認書以外)については本学Webサイトからダウンロードすることもできます。(A4白紙に片面でプリントアウトしてください。指定がない限りPC等での作成も可。)

[本学Webサイト <https://www.osaka-cu.ac.jp/ja/admissions/graduate/ishorui>]

※ 必要に応じて追加書類の提出を求めることがあります。

(1) 出願書類等(共通)

1	入学願書 (写真2枚)	<p>① 本学所定の用紙を用い、黒のボールペン(消せるボールペン等は不可)を使用し、本人が記入してください。</p> <p>② ※印の欄は記入しないでください。</p> <p>③ 受験票と写真票には、縦4cm×横3cmの同じ写真(上半身、無帽で出願日より3か月以内に撮影したもの)をそれぞれ貼ってください。</p> <p>④ 「志望専門分野名」欄と「受験科目」欄には、25ページ以下「6選抜方法(選抜試験)」の「願書記入上の注意」をよく読んで、指定された欄のみ記入してください。</p> <p>⑤ 出願後の記載の変更は認めません。</p>
2	成績証明書 * 原本(コピー不可)	最終出身(在籍)大学のもの。(注) (ただし出願する研究科の基礎となる本学学部卒業(見込)の者〔例えば、経営学研究科の場合は商学部〕及び「2出願資格」(7)から(9)に該当する者は提出する必要がありません。)
3	卒業(見込)証明書 * 原本(コピー不可)	最終出身(在籍)大学のもの。(注) 〈学士等の学位の記載があるもの。記載がない場合は学位取得証明書も提出してください。〉 (ただし出願する研究科の基礎となる本学学部卒業(見込)の者及び「2出願資格」(7)から(9)に該当する者は提出する必要がありません。) * 学士等の学位を取得していない場合は出願前にご相談ください。 * 卒業証書(原本)又は卒業証書を出願者がコピーしたものの提出は認めません。
4	日本語の能力証明書 * いずれかを提出	<ul style="list-style-type: none"> ・日本語の公的試験の成績表(コピー可、受験年度不問) ・日本語学校や大学が作成した証明書(コピー不可) <p>日本語学校や大学で日本語の授業を受けた者は、修学に差し支えない程度に日本語を修得している旨、実際に指導を受けた教員により記載・公的な押印がされたものを提出してください。(様式任意)</p> <p>* 個人の印では認めません。 * 証明するものが提出できない場合は出願前にご相談ください。</p>
5	在留資格・期間を証明する書類	<p>日本国内に居住する者 「在留カード」の両面コピー又は市区町村が発行する「住民票の写し(原本)」(国籍、在留資格、在留期間が記載されたもの)を提出してください。</p> <p>外国居住者又は短期滞在者 「パスポートのコピー」写真・国籍・氏名が掲載されているページと上陸許可(短期滞在者のみ)が掲載されているページを提出してください。</p>
6	確認書	<p>本学所定の用紙「大阪公立大学(仮称)の研究科・専攻・課程・分野等の確認書」に記載の内容を確認し、必要事項を記入のうえ、提出してください。</p> <p>※提出前に必ずコピーをとり、コピーは各自で保管し、原本を提出。</p>
7	受験票等送付用封筒	<p>本学所定の封筒に384円分の切手を貼り、受験票等送付先の郵便番号、住所および氏名を記入したもの(日本国内の住所に送付する場合に限る)。</p> <p>※日本国外(海外)から出願する者は、必ず出願前に入試課(ocu-nyus@ado.osaka-cu.ac.jp)までメールでご連絡ください。</p>

8	出願資格認定通知書	「2出願資格」(7)から(9)により出願する者のみ提出してください。
9	履 歴 書	<p>本学所定の用紙を用い、黒のボールペン(消せるボールペン等は不可)を使用し、本人が記入してください。</p> <p>① 学歴は、学校教育全期間を記入してください。</p> <p>② 学校名及び入学・卒業年月日は、全て記入してください。</p> <p>③ 研究歴、職歴があれば記入してください。</p>
10	入 学 検 定 料	<p>30,000 円</p> <p>郵便局で、本学所定の払込取扱票にて納付してください。</p> <p>※日本国外(海外)から出願する者は、入学検定料の納付方法が異なりますので、必ず出願前に入試課(ocu-nyus@ado.osaka-cu.ac.jp)までメールでご連絡ください。</p> <p><43 ページ「11 注意事項」(3)に該当する者以外には、既納の入学検定料は返還しません。></p>

注 和文、英文以外のものについては、公的機関(出身大学、日本語学校、大使館等)の証明のある翻訳文も必ず提出してください。個人の署名や印では認められません。

(2) 研究科ごとに必要な書類

※ 経営学研究科、経済学研究科及び文学研究科については、出身大学長等の推薦書は必要ありません。

《経営学研究科》

A	志 望 理 由 ・ 研 究 計 画 書	経営学研究科所定の用紙を用い、志望理由及び研究計画等を記述の上、提出してください。
---	------------------------	---

《経済学研究科》

A	志 望 理 由 ・ 研 究 計 画 書	経済学研究科所定の用紙又は、経済学研究科所定の用紙の太枠内を記入したものを表紙とし、A4版(縦長、横書き)用紙に、研究計画等を記述の上、原本1部を提出してください。
---	------------------------	--

《文学研究科》

A	研 究 計 画 書	志望専攻の専門分野について研究したこと及び今後研究を行いたいことを日本語で4,000字程度にまとめたもの。A4版(縦長)にパソコン等で横書き(手書きも可)したものに、文学研究科所定の表紙をつけてください。1行あたりの字数、1頁あたりの行数等の様式、文章の構成は自由です。(※)
B	文 学 研 究 科 必 要 事 項 記 入 用 紙	文学研究科所定の用紙を用い提出してください。
C	卒 業 論 文 (写 し)	志望専攻の専門分野に関係のあるもの (本学・他大学を問わず、卒業見込者は不要です。また、卒業論文を課さない大学・学部の出身者、志望専攻の専門分野と異なる学部・学科・専攻等の出身者も不要です。)
		卒業論文(写し)の表紙に、 出身大学の学部長等が作成した「卒業論文の写しに相違ない旨の証明書」(見本参照) を貼ってください。
D	A、C以外の研究成果を示す論文等(写し) (希望者のみ)	卒業論文が日本語以外の場合は、出願者自身が作成した日本語の要旨を添付してください。要旨は2,000字以内で、A4版(縦長)にパソコン等で横書き(手書きも可)したものに、文学研究科所定の表紙をつけてください。1行あたりの字数、1頁あたりの行数等の様式は自由です。
		A、C(研究計画書又は卒業論文(写し))以外で、志望専攻の専門分野についての研究成果を示す論文等があれば、その写しを提出してください。外国語で書かれたものでも構いません。

※Aについて、出願期間中に提出できない場合は、次の手順で期日延長を認めます。

①B「文学研究科 必要事項記入用紙」に必要事項を記入し、出願時に提出。

②学生サポートセンター文学研究科教務担当に下記の提出期限までに郵送または持参

提出期限：2021年8月6日(金)17:00(必着)

(郵送の場合は、封筒に「大学院入試出願書類期日延長書類在中」と「赤色」で書き、必ず「文学研究科教務担当」あてに郵便局で**特定記録速達郵便**により送付のこと。)

《 理 学 研 究 科 》

A	推 薦 書	最終出身(在籍)大学長、学部長、研究科長又は指導教授が作成の上、厳封したもの。
B	TOEIC 公式認定証(原本) (*) (物質分子系専攻に 出願する者のみ)	2019年7月1日から2021年6月30日の間に実施されたTOEIC Listening & Reading Test のスコアを有効とします。複数回受験した場合は、出願しようとする者がその中から一つを選択して出願時に提出してください。 <u>団体特別受験制度(IPテスト)のスコアは無効です。</u> <u>一度、提出されたTOEIC公式認定証(原本)の差し替えは認めません。</u> <u>また、提出されたTOEIC公式認定証(原本)は返却しません。</u>
<p>※ 出願時に「TOEIC公式認定証(原本)」を提出できない場合は、次のとおり提出期日の延長を認めます。</p> <p>① 申立書(A4用紙・様式任意)に理由を記入し、出願時に同封してください。</p> <p>② TOEIC公式認定証(原本)をいずれかにより提出してください。</p> <p>学生サポートセンター理学研究科教務担当(裏表紙参照)に郵送：2021年8月2日(月)消印有効 学生サポートセンター理学研究科教務担当に直接持参：2021年8月2日(月)17：00まで (郵送の場合は、出願専攻名を明記した紙を同封の上、封筒に「TOEIC公式認定証 在中」と「赤色」で書き、必ず「理学研究科教務担当」あてに郵便局で特定記録速達郵便により送付のこと。)</p>		

(*) 写真のないものは無効とします。提出されたTOEIC公式認定証(原本)に不正が認められた場合は、入学許可後であっても入学を取り消します。

(*) TOEIC公開テストの複数回の抽選漏れによって受験機会がなく、出願時までに「TOEIC公式認定証(原本)」を提出できない場合は、出願時までに理学研究科教務担当(Tel:06-6605-2504)に電話で相談してください。特別対応を実施する場合があります。

《 工 学 研 究 科 》

A	推 薦 書	最終出身(在籍)大学長、学部長、研究科長又は指導教員が作成の上、厳封したもの(本学工学部卒業(見込)の者は提出する必要がありません)。
B	TOEIC 公式認定証(原本) (*)	2019年7月1日から2021年6月30日の間に実施されたTOEIC Listening & Reading Test のスコア及び「院試出願予定者専用IPテスト」(大阪市立大学生協同組合主催・2021年5月8日〔予備日：5月15日〕開催分)のスコアを有効とします。複数回受験した場合は、出願しようとする者がその中から一つを選択して出願時に提出してください。 <u>団体特別受験制度(IPテスト)のスコアは無効です。ただし、「院試出願予定者専用IPテスト」(大阪市立大学生協同組合主催・2021年5月8日〔予備日：5月15日〕開催分)のスコアに限り有効とします。</u> <u>一度、提出されたTOEIC公式認定証(原本)又は「院試出願予定者専用IPテスト」のスコアの差し替えは認めません。</u> <u>また、提出されたTOEIC公式認定証(原本)又は「院試出願予定者専用IPテスト」のスコアは返却しません。</u>
<p>※ 出願時に「TOEIC公式認定証(原本)」を提出できない場合は、次のとおり提出期日の延長を認めます。</p> <p>① 申立書(A4用紙・様式任意)に理由を記入し、出願時に同封してください。</p> <p>② TOEIC公式認定証(原本)をいずれかにより提出してください。</p> <p>学生サポートセンター工学研究科教務担当(裏表紙参照)に郵送：2021年8月3日(火)消印有効 学生サポートセンター工学研究科教務担当に直接持参：2021年8月3日(火)17：00まで (郵送の場合は、出願専攻名を明記した紙を同封の上、封筒に「TOEIC公式認定証 在中」と「赤色」で書き、必ず「工学研究科教務担当」あてに郵便局で特定記録速達郵便により送付のこと。)</p>		

(*) 写真のないものは無効とします。提出されたTOEIC公式認定証(原本)又は「院試出願予定者専用IPテスト」のスコアに不正が認められた場合は、入学許可後であっても入学を取り消します。

《 生 活 科 学 研 究 科 》

A	推 薦 書 * 原本 (コピー不可)	最終出身(在籍)大学長、学部長、学科長、研究科長又は指導教授が作成したもの。
---	-----------------------	--

5 出願方法

出願しようとする者は、入学検定料を納付し、出願書類を取りそろえ、本学所定の出願封筒(出願書類が入りきらない場合は、本学所定の出願封筒の表を切り取ったものを貼った封筒でも可)を使用し、次の送付先に必ず**書留速達郵便(EMS を含む)**により送付してください。ただし、本学に在学している者(研究生・研修生等を含む)については、次の出願期間中の月～金曜日(祝日及び休業日を除く)10:00～17:00(12:00～12:45を除く)の時間に限り、学生サポートセンター各研究科教務担当に直接提出することができます(本学所定の出願封筒を使用し出願書類を提出すること)。

出 願 期 間	送 付 先
2021年7月19日(月)～7月26日(月) 【7月26日消印有効】 ※7月27日(火)以降に到着したもののうち消印がないものについては、7月26日(月)までに郵便局の窓口差し出されたことが確認できるものに限り受理します。	〒558-8585 大阪市住吉区杉本3丁目3番138号 大阪市立大学 入試課

出願の受付が完了した者には「受験票」及び「受験上の注意」を発送します。

8月5日(木)頃に発送の予定ですので、1週間経過しても到着しない場合は、学生サポートセンター各研究科教務担当に連絡してください。

6 選抜方法

入学者選抜は、選抜試験の成績及び出願書類の内容を総合して行います。選抜試験会場は、本学杉本キャンパス(JR阪和線杉本町〔大阪市立大学前〕駅下車)です。

なお、詳細は受験票を送付する際に通知します。受験の際には、必ず受験票を持参してください。

(選抜試験)

● 経営学研究科

入学受入れの方針 (アドミッション・ポリシー)

(求める学生像)

「考える実学」教育の方針のもと、実社会について旺盛な探求心と世界的視野を持って学修し、その成果をもって経済社会の発展に積極的に貢献しようとする意欲と能力のある、人間性豊かな人を求めます。

(入学選抜の基本方針)

筆答試験では経営や会計、産業の諸領域の基礎理論および外国語に関する習得について、口述試験では前期博士課程における専門的あるいは学際的知識の学修に対応できる意欲と能力について確認し、出願書類等も踏まえて総合的に評価します。

※ ディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシーは以下をご参照ください。

<https://www.osaka-cu.ac.jp/ja/academics/graduate/business#policy>



《グローバルビジネス専攻》

本専攻には、1)前期博士課程で個々の学問領域について高度に専門的な研究を実施したうえで、「修士論文を作成するコース」と、2)アジアにおける経済やビジネスについて研究を深めたのちに、課題研究論文を作成する「アジア・ビジネス研究プログラム」とが併設されています。取得できる学位は、修得単位によって修士(経営学)、修士(商学)、修士(グローバルビジネス)のいずれかとなりますが、「アジア・ビジネス研究プログラム」では修士(グローバルビジネス)のみとなります。「修士論文を作成するコース」の修了者は後期博士課程に進学して専門の学問領域の研究者となることが期待されます。「アジア・ビジネス研究プログラム」の修了者は専門的な知識を有した高度職業人として活躍することが期待されます。

そのため、後期博士課程に進学を予定する人は、本募集要項の入学試験を受験してください。「アジア・ビジネス研究プログラム」からは、原則として後期博士課程に進学することはできませんので、注意してください。

なお、「アジア・ビジネス研究プログラム」については、別冊の「アジア・ビジネス研究プログラム学生募集要項」をご参照ください。

9月1日(水)		9月2日(木)
10:20~11:50	12:50~14:50	10:00~
筆答試験	筆答試験	口述試験
<p>英語 (100点)</p> <p>解答は、日本語で行い、表記はひらがな、ローマ字でも可。 試験時に本研究科で用意した語学辞書を受験者全員に貸与します。</p> <p>TOEFL iBTによる代替可 (注2参照)</p>	<p>専門科目(出題分野)(200点)</p> <p>下記の出題分野からそれぞれ1問ずつ、合計9問が出題されます。 (A)経営、(B)国際ビジネス、(C)金融、(D)流通、(E)産業、(F)会計、(G)経営分析、(H)経済学、(I)数学・統計学</p> <p>9問のうち2問を選択し、日本語1,000字程度で解答してください。 ただし、日本語の文字数制限は、出題分野「(I)数学・統計学」からの出題に対する解答には適用されません。</p>	<p>筆答試験の解答と研究計画書について行います。 (1人当たり 約15分)</p>

注1 9月1日(水)の筆答試験の結果により、指定した者についてのみ口述試験を行います。

該当者は、9月2日(木)9:30に経営学研究科支援室(商学部棟1階事務室)前で発表します。

2 英語の試験で、受験者が以下のいずれかの試験方法を選択できるようにします。

① 筆答試験「英語」を受験する。

② TOEFL iBT(Internet-Based Test)を受験する。TOEFL iBTの成績を、本研究科の換算基準をもとに筆答試験「英語」の評価点数として採用する。

③ 筆答試験「英語」とTOEFL iBTの両方とも受験した場合は、本研究科の換算基準をもとに高い方の成績を筆答試験「英語」の評価点数として採用する。

3 TOEFL iBTの成績の使用を希望する場合、以下のすべての条件を満たすことが必要です。

① 2021年8月25日(水)までに経営学研究科に送付されたOfficial Score Report(公式スコア票)の成績を有効とする。

- ② 有効とする TOEFL iBT の成績は、2019 年 6 月 1 日から 2021 年の 5 月 31 日までの 2 年間に受験した TOEFL iBT テストの成績とします (TOEFL テスト事務局が有効とする 2 年ではありません)。
また、TOEFL PBT (Paper-Based Test) 及び TOEFL-ITP (団体向け) の成績は不可とします。注意してください。
- 4 TOEFL iBT の成績の使用を希望する受験者は、志望理由・研究計画書にそのことを記載してください。記載されていない場合は、TOEFL iBT の成績は利用できません。
- 5 TOEFL iBT の Official Score Report (公式スコア票) が経営学研究科に送付されるよう手続きをする際、DI コード (Institution Code) 及び Department Code に、次の番号を用いてください。
DI コード : 8914 Department Code : 82

願書記入上の注意

受験科目・研究指導教員名は記入の必要がありません。

● 経済学研究科

入学受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

〈求める学生像〉

一般コース

経済学の基礎理論を習得したうえで、現代の経済学の先端的な理論や実証研究に関心を持つと同時に、豊かな現実感覚を有する人を受入れます。

修士専修コース

経済学に対する関心を持ちながら、社会のさまざまな分野で問題解決に取り組む意欲のある人を受入れます。

〈入学選抜の基本方針〉

一般コース

日本語の能力証明書では日本語の基礎能力を、筆答試験では英語の読解力・表現力と経済学の基礎の習得度を、口述試験では「研究計画書」の的確性と日本語による意思疎通能力を、それぞれ確認し、学士課程における成績とあわせて総合的に評価します。

修士専修コース

日本語の能力証明書では日本語の基礎能力を、筆答試験では経済学の基礎の習得度、口述試験では「研究計画書」の的確性と修了後の進路の希望を、それぞれ確認し、学士課程における成績とあわせて総合的に評価します。

※ ディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシーは以下をご参照ください。

<https://www.osaka-cu.ac.jp/ja/academics/graduate/economics#policy>



《現代経済専攻》

本研究科前期博士課程には、後期博士課程への進学あるいは長年の職業体験やライフワークの学問的成果への結実を目指して修士論文作成を目標とする「一般コース」と、現代経済に関する精深な知識を獲得して社会の諸分野で活躍する人材養成を目標とする「修士専修コース」が置かれています。後期博士課程へ進学を希望する場合は、一般コースを受験してください。

※2022年4月開学予定の大阪公立大学(仮称)大学院経済学研究科では、「一般コース」は「博士コース(前期)」、「修士専修コース」は「修士コース」に名称変更の予定です。合格し、入学する場合、院生室は、杉本キャンパスに配属される予定です。

○ 一般コース

8月26日(木)		8月27日(金)
10:50~11:50	13:00~14:30	13:30~
筆答試験	筆答試験	口述試験
英語(100点)	専門科目(300点) 経済理論1(政治経済学1) 経済理論2(政治経済学2) 経済理論3(近代経済学1) 経済理論4(近代経済学2) 計量経済学 経済史 経済政策 国際経済	研究計画書等について日本語により行う。 (1人当たり約15分)
辞書2冊(母語と英語1冊及び日本語と英語1冊)の持ち込み可。ただし、経済用語辞典、電子辞書等は不可。 英語での解答を求めている場合を除き、解答は日本語で記すこと。 TOEIC、TOEFLによる代替可。 (注3参照)	上記の8問の中から1問を試験場で選択。ただし、研究計画の内容に近い分野の科目を選択することが望ましい。希望する研究指導教員と事前によく相談すること。 問題文は日本語で記されているが、英語での解答が可能。	

注1 口述試験は、8月26日(木)の筆答試験の結果により、指定した者についてのみ行います。

該当者は、8月27日(金)13:00に試験会場で発表します。

2 事前相談の教員連絡先は下記サイトを参照してください。

教員にメールを送る場合は、件名に「大学院選抜試験の事前相談」と記載してください。

[URL] <https://www.econ.osaka-cu.ac.jp/ja/staff/>

3 筆答試験「英語」の代わりに、英語を母国語としない出願者のみ、2019年1月以降に受験したTOEIC Listening & Reading Testまたは2019年7月以降に受験したTOEFL-iBTの成績を提出することができます。希望者は出願書類に成績証明書(原本)を同封してください。

TOEIC Listening & Reading TestもしくはTOEFL-iBTの成績を提出した上で、筆答試験「英語」を受験することもできます。その場合は両方の成績を比較した上で、出願者に有利と判断される方を筆答試験「英語」の成績とします。

- ・成績証明書(原本)とは、TOEIC Listening & Reading Test の場合は「TOEIC Listening & Reading OFFICIAL SCORE CERTIFICATE(公式認定証)^{※1}」を、TOEFL-iBT の場合は「Test Taker Score Report^{※2}」を指します。
- ・成績証明書は出願期間内に提出できるものに限ります(差し替えは認めません)。
- ・成績証明書の複数提出は不可です。
- ・成績証明書は返却しません。
- ・団体向けテスト(TOEIC IP テスト、TOEFL-ITP)の成績証明書は無効です。

※1 前記期限内の公式認定証であれば「OFFICIAL SCORE CERTIFICATE」でも問題ありません。

※2 前記期限内の公式スコアであれば「Examinee Score Report」でも問題ありません。

願書記入上の注意

- ① 「研究指導教員名」欄に、研究指導を希望する教員の氏名を記入してください。
- ② 「志望専門分野名」欄に、研究指導を希望する教員の担当授業科目を記入してください。
(「大学院の概要」[<https://www.osaka-cu.ac.jp/ja/admissions/graduate/7rcubm>]参照)
- ③ 願書送付用封筒の表面、コース記入欄に「一般」と記入してください。

○ 修士専修コース

8月26日(木)	8月27日(金)
13:00~14:30	13:30~
筆答試験	口述試験
<p>専門科目(250点) 経済理論1(政治経済学1) 経済理論2(政治経済学2) 経済理論3(近代経済学1) 経済理論4(近代経済学2) 計量経済学 経済史 経済政策 国際経済</p> <p>上記の8問の中から1問を試験場で選択。ただし、研究計画の内容に近い分野の科目を選択することが望ましい。希望する研究指導教員と事前によく相談すること。 問題文は日本語で記されているが、英語での解答が可能。</p>	<p>研究計画書等について日本語により行う。 (1人当たり約15分)</p>

注1 口述試験は、8月26日(木)の筆答試験の結果により、指定した者についてのみ行います。

該当者は、8月27日(金)13:00に試験会場で発表します。

2 事前相談の教員連絡先は下記サイトを参照してください。

教員にメールを送る場合は、件名に「大学院選抜試験の事前相談」と記載してください。

[URL] <https://www.econ.osaka-cu.ac.jp/ja/staff/>

願書記入上の注意

- ① 「研究指導教員名」欄に、研究指導を希望する教員の氏名を記入してください。
- ② 「志望専門分野名」欄に、研究指導を希望する教員の担当授業科目を記入してください。
(「大学院の概要」[<https://www.osaka-cu.ac.jp/ja/admissions/graduate/7rcubm>]参照)
- ③ 願書送付用封筒の表面、コース記入欄に「修士専修」と記入してください。

【一般コースのみ対象】

経済学研究科では、「大阪市立大学大学院経済学研究科研究助成・奨励会 奨学金」の制度が設けられており、各年度の合格者の中から成績の優秀な者1名に対して、入学金に相当する額の奨学金を支給することがあります。詳しくは、学生サポートセンター経済学研究科教務担当へお問い合わせください。

● 法 学 研 究 科

入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

- 1 法学的・政治学的問題に豊かな関心を持ち、解決策を模索する強い意志を持つ人
- 2 実務経験の中で生じる問題を、法学的・政治学的観点から考察しようとする意志を持つ人
- 3 法学・政治学の高度の研究を遂行するために不可欠な基礎的知識を持つ人
- 4 自己の見解を論理的に構築・展開して、相手に説明し正当化する能力を持つ人

※ ディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシーは以下をご参照ください。

<https://www.osaka-cu.ac.jp/ja/academics/graduate/law#policy>



《法学政治学専攻》

2022 年度より、法学・政治学の研究者の養成を念頭に後期博士課程への進学を目指す「理論研究プログラム」と、法学・政治学に関する特定の課題について探求し高度職業人養成を行う「課題展開プログラム」を設置します。両プログラムでは、修了要件や後期博士課程進学の際に課せられる科目数等に違いがあります。志望する進路等を勘案して、いずれかのプログラムを選択して出願してください（併願はできません）。

○ 理論研究プログラム

9月1日(水)		
10:40~12:10	13:00~14:30	15:00~
筆答試験 (専門科目)	筆答試験 (外国語)	口述試験
志望する専攻分野(32ページの表A欄)に対応する専門科目(表B欄) 1科目 を選択 (100点)	志望する専攻分野(32ページの表A欄)に対応する外国語科目(表C欄)から 1か国語 を選択 (100点)	① 日本語での説明 (パーソナル・ヒストリーと留学の目的) ② 質疑応答 (合否で判定する)

注1 実際の口述試験の開始時刻は、当日試験場本部前に掲示します。

2 専門試験科目の筆答試験については、「六法」1冊を貸与します。

3 外国語科目の筆答試験については、辞書2冊の持ち込みを可とします(ただし、電子辞書は不可)。

願書記入上の注意

- ① 志望専門分野名欄の1に、理論研究プログラムと記入してください。
- ② 志望専門分野名欄の2に、「大学院において専攻する分野」を32ページの表A欄から選択して記入してください。
- ③ 受験科目欄「専門」には、受験する専門科目名を記入してください。
- ④ 受験科目欄「外国語」には、受験する外国語科目名を記入してください。
- ⑤ 研究指導教員名は、事前相談をおこなったうえで、記入してください。

○ 課題展開プログラム

9月1日(水)	
10:40~12:10	13:00~
筆答試験 (専門科目)	口述試験
志望する専攻分野(同ページの表A欄)に対応する 専門科目(表B欄) 1科目 を選択 (100点)	① 日本語での説明 (パーソナル・ヒストリーと留学の目的) ② 質疑応答 (合否で判定する)

注1 実際の口述試験の開始時刻は、当日試験場本部前に掲示します。

2 専門試験科目の筆答試験については、「六法」1冊を貸与します。

願書記入上の注意

- ① 志望専門分野名欄の1に、課題展開プログラムと記入してください。
- ② 志望専門分野名欄の2に、「大学院において専攻する分野」を以下の表A欄から選択して記入してください。
- ③ 受験科目欄「専門」には、受験する専門科目名を記入してください。
- ④ 研究指導教員名は、事前相談をおこなったうえで、記入してください。

大学院で専攻する分野 (A欄)	筆答試験専門科目 (B欄)	指定する外国語 (C欄)
法社会学	法社会学	英語, ドイツ語, フランス語, 中国語
日本法制史	日本法制史	
英米法	英米法	英語
ドイツ法	ドイツ法	ドイツ語
アジア法(中国法)	アジア法(中国法)	中国語
憲法	憲法	英語, ドイツ語, フランス語
行政法	行政法	
刑法	刑法	英語, ドイツ語, フランス語, 中国語
	刑事政策	
刑事訴訟法	刑事訴訟法	
民法	民法	英語, ドイツ語, フランス語
商法	商法(商法総則・会社法)	英語, ドイツ語, フランス語, 中国語
民事訴訟法	民事訴訟法	英語, ドイツ語, フランス語
倒産法	倒産法	
労働法	労働法	英語, ドイツ語, フランス語, 中国語
社会保障法	社会保障法	
経済法	経済法	英語, ドイツ語, フランス語
国際法	国際法	英語
国際組織法	国際法	英語, ドイツ語, フランス語, 中国語
国際私法	国際私法	
政治学史	政治学史	英語, ドイツ語, フランス語
比較政治学	比較政治学	英語
欧州政治外交史	欧州政治外交史	英語, ドイツ語, フランス語
国際政治	国際政治	
行政学	行政学	

● 文 学 研 究 科

入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

〈求める学生像〉

人文科学・行動科学の専門領域に関する明確な問題意識と専門的知識を有する人
社会的経験をふまえて人文科学・行動科学の専門領域の研究を志す人

〈入学者選抜の基本方針〉

日本語の能力証明書では日本語の基礎能力を、筆答試験では外国語の読解力・表現力と専門科目の習得度を、口述試験では提出された卒業論文や研究計画書等の達成度や的確性を確認し、学士課程における成績とあわせて総合的に評価します。

※ ディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシーは以下をご参照ください。

<https://www.osaka-cu.ac.jp/ja/academics/graduate/literature#policy>



《哲学歴史学専攻》

日時等	9月1日（水）		9月2日（木）
	10：30～12：00	13：30～16：30	13：30～
筆答試験	筆答試験		口述試験 (100点)
専門分野	外国語（100点）	専門科目（200点） (出題分野)	
哲 学	日本語 ※ 専門分野別に 出題されます。	哲学概論・西洋哲学史	専門分野別に、筆 答試験及び提出さ れた論文等につい て行います（1人 当たり約30分）。
日本史学		日 本 史 学	
東洋史学		東 洋 史 学	
西洋史学		西 洋 史 学	

※ 各専門分野とも、専門科目の一部として、外国語読解能力を問う問題が出題されることがあります。

願書記入上の注意

「文学研究科入学願書の記入例・注意事項」を参照してください。

《人間行動学専攻》

日時等	9月1日（水）		9月2日（木）
	10：30～12：00	13：30～16：30	13：30～
筆答試験	筆答試験		口述試験 (100点)
専門分野	外国語（100点）	専門科目（200点） (出題分野)	
社会学	日本語 ※ 専門分野別に 出題されます。	社会学概論・社会学研究法（調 査法を含む）	専門分野別に、筆 答試験及び提出さ れた論文等につい て行います（1人 当たり約30分）。
心理学		心理学概論・心理学研究法	
教育学		教育学概論・教育方法学	
地理学		地 理 学	

※ 各専門分野とも、専門科目の一部として、外国語読解能力を問う問題が出題されることがあります。

願書記入上の注意

「文学研究科入学願書の記入例・注意事項」を参照してください。

《言語文化学専攻》

日時等	9月1日(水)		9月2日(木)
	10:30~12:00	13:30~16:30	13:30~
専門分野	筆答試験	筆答試験	口述試験 (100点)
	外国語(100点)	専門科目(200点) (出題分野)	
国語国文学	日本語 ※ 専門分野別に 出題されます。	国文学・国語学	専門分野別に、筆 答試験及び提出さ れた論文等につい て行います(1人 当たり約30分)。
中国語中国文学		中国文学・中国語学・中国文化学	
英語英米文学		英米文学・英語学・英米文化学	
ドイツ語 フランス語圏 言語文化学		ドイツ語圏文学・ドイツ語学・ド イツ語圏文化学 フランス語圏文学・フランス語 学・フランス語圏文化学 (注)	
言語応用学		言語応用学 (言語理論・言語応用論、言語比 較論・言語教育論等)	

※ 各専門分野とも、専門科目の一部として、外国語読解能力を問う問題が出題されることがあります。

注 ドイツ語圏言語文化学を主として専攻する場合はドイツ語圏文学・ドイツ語学・ドイツ語圏文化学を、フランス語圏言語文化学を専攻する場合はフランス語圏文学・フランス語学・フランス語圏文化学を選択すること。

願書記入上の注意

「文学研究科入学願書の記入例・注意事項」を参照してください。

《文化構想学専攻》

日時等	9月1日(水)		9月2日(木)
	10:30~12:00	13:30~16:30	13:30~
専門分野	筆答試験	筆答試験	口述試験 (100点)
	外国語(100点)	専門科目(200点) (出題分野)	
表現文化学	日本語 ※ 専門分野別に 出題されます。	表現文化学 (文化理論、表象文化論、比較表 現論、ポピュラー文化論等)	専門分野別に、筆 答試験及び提出さ れた論文等につい て行います(1人 当たり約30分)。
アジア文化学		アジア文化学 (アジア地域研究、アジア文化研 究に関する基礎的問題)	
文化資源学		文化資源学 (芸術文化、観光文化、国際文化、 文化を活用した社会実践等に関 する問題)	

※ 各専門分野とも、専門科目の一部として、外国語読解能力を問う問題が出題されることがあります。

願書記入上の注意

「文学研究科入学願書の記入例・注意事項」を参照してください。

● 理 学 研 究 科

入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

自然科学における専門分野の基礎学力を有し、自然の摂理を解明・理解し、基礎科学的、学際的、あるいは応用的観点から研究を推進することを目指す人を求めます。

※ ディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシー及び専攻ごとのアドミッション・ポリシーは以下をご参照ください。

<https://www.osaka-cu.ac.jp/ja/academics/graduate/science#policy>



《数物系専攻》

9月1日（水）	9月2日（木）
9：30～12：00	10：00～
筆答試験	口述試験
英語および専門科目 （英語が母語とみなされる場合は、他の試験を課すことがあります。）	専門科目、日本語の修得の程度等について行います。

願書記入上の注意

- ① 「志望専門分野名」欄の1～3に、次の専門分野から一分野ずつ選んで志望する順に講座番号と専門分野を記入してください。専門分野が未定の場合は講座番号のみを記入してください（専門分野の研究内容については、「大学院の概要」〔<https://www.osaka-cu.ac.jp/ja/admissions/graduate/7rcubm>〕を参照してください）。

講座番号	講座名	専門分野
A 1	数 理 構 造 論	代数系、表現論、多様体論、位相幾何学
A 2	数 理 解 析 学	確率論、応用数学、偏微分方程式論、微分幾何学、実解析学・複素解析学
A 3	基 礎 物 理 学 （理 論）	素粒子論、原子核理論、宇宙物理、数理物理
A 4	宇宙・高エネルギー 物理学（実験）	宇宙線物理学、高エネルギー物理学、宇宙・素粒子実験物理学、重力波実験物理学
A 5	物 性 物 理 学	超低温物理学（実験）、光物性物理学（実験）、生体・構造物性物理学（実験）、素励起物理学（理論）、電子相関物理学（理論）、レーザー量子物理学（実験）

- ② 「受験科目」欄には記入する必要はありません。
 ③ 「研究指導教員名」欄には、事前相談をおこなった教員名（複数可）を記入してください。

《物質分子系専攻》

9月1日（水）	9月2日（木）
9：30～12：00	10：00～
筆答試験	口述試験
専門科目	専門科目、日本語の修得の程度等について行います。

※ 外国語（英語）の能力は、TOEIC Listening & Reading Test のスコアにより評価します。

願書記入上の注意

- ① 「志望専門分野名」欄、「受験科目」欄には記入する必要はありません。
 ② 「研究指導教員名」欄には、事前相談をおこなった教員名（複数可）を記入してください。

《生物地球系専攻》

9月1日(水)	9月2日(木)
13:00~15:00	10:00~
筆答試験	口述試験
英語および専門科目 (英語が母語とみなされる場合は、他の試験を課すことがあります。)	専門科目、日本語の修得の程度等について行います。

願書記入上の注意

- ① 「志望専門分野名」欄の1～3に、次の専門分野から一分野ずつ選んで志望する順に講座番号と専門分野を記入してください(専門分野の研究内容については、「大学院の概要」

[<https://www.osaka-cu.ac.jp/ja/admissions/graduate/7rcubm>]を参照してください)。

講座番号	講座名	専門分野
C 1	生物分子機能学	代謝調節機能学、生体低分子機能学、生体高分子機能学
C 2	生体機能生物学	動物機能生物学、植物機能生物学、細胞機能学
C 3	自然誌機能生物学	動物機能生態学、植物機能生態学、情報生物学、植物進化適応学
C 4	環境地球学	人類紀自然学、都市地盤構造学、地球情報学
C 5	地球物質進化学	地球物質学、岩石学、地球史学

- ② 「受験科目」欄には記入する必要はありません。
 ③ 「研究指導教員名」欄には、事前相談をおこなった教員名(複数可)を記入してください。

理学研究科では国際的な教育研究機能強化の一環として諸外国の留学生をより多く受け入れるため、前期博士課程において英語のみで授業・研究指導を受けられる体制を導入しています。つきましては本学に入学し履修された科目が英語の授業である場合があります。

● 工 学 研 究 科

入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

工学研究科は、持続可能な社会を実現するために、「社会に対する強い責任感と高い倫理性」、「創造的に技術を革新しようとする志」、「旺盛な向学心」を有する優れた学生を広く国内外から受け入れます。

具体的には、以下のいずれかあるいは複数の素養や能力を持った人を求めます。

- (1) 工学の分野において専門性を志向しつつ、さらに高度な工学領域の知識と技術を広く習得する素養
- (2) 工学以外の分野で基礎を学び、それを工学の分野で活かすために必要な素養
- (3) 修士論文の作成に求められる研究力の習得に必要な論理的思考力、デザイン力、コミュニケーション力

※ ディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシー及び専攻ごとのアドミッション・ポリシー、入学者選抜の基本方針については、以下をご参照ください。

<https://www.osaka-cu.ac.jp/ja/academics/graduate/engineering#policy>



《機械物理系専攻》

8月24日（火）		8月25日（水）
10：00～12：00	13：30～16：30	10：00～
筆答試験	筆答試験	口述試験
基礎科目	専門科目	
基礎数学、一般力学 （各科目 100 点、合計 200 点）	材料力学、熱力学、流体力学、機械力学、 制御工学、材料工学の中から 3 科目選択 （各選択科目 100 点、合計 300 点）	志望する専門分野に ついて行います。(50 点)

※ 外国語(英語)の能力は、TOEIC のスコアにより評価します (200 点)。

※ 受験しない試験がある場合には不合格となります。

※ 各試験科目の出題範囲キーワード

1. 基礎科目

基礎数学：線形代数(行列式、基底、固有値)、微積分(極値問題、陰関数の定理・逆関数の定理、多重積分・累次積分、曲面の面積)

一般力学：質点の力学、質点系の力学、剛体の力学

2. 専門科目

材料力学：応力とひずみ、引張りと圧縮、熱応力、はりの曲げ、ねじり、組み合わせ応力、ひずみエネルギー

熱力学：熱力学第1法則及び第2法則、熱力学の一般関係式、理想気体、ガスサイクル、蒸気サイクル

流体力学：静水圧、連続の式、ベルヌーイの定理、運動量の法則、管路内の流れ、完全流体の流れ、粘性流れの基礎

機械力学：1自由度系の振動、多自由度系の振動

制御工学：連続系、離散系、伝達関数、時間応答、周波数応答、安定判別、位相補償、PID制御

材料工学：化学結合、組織と機械的性質、状態図、熱処理

願書記入上の注意

① 「志望専門分野名」欄の1～3に、「大学院の概要」

[<https://www.osaka-cu.ac.jp/ja/admissions/graduate/7rcubm>]に記載された専門分野番号と専門分野名を志望する順に記入してください。

② 「受験科目」欄は記入不要です。

③ 志望専門分野名と専門科目で選択する科目の対応は問いません。

④ 教員の受入可能学生数から、志望する専門分野で合格できないことがあります。

⑤ 「研究指導教員名」欄は、事前相談を行ったうえで記入してください。

《電子情報系専攻》

科目 類	8月24日(火)		8月25日(水)
	9:00~12:00	13:30~16:30	13:00~
	筆答試験		口述試験
	基礎科目(200点)	専門科目(200点)	(50点)
第1類(電子物理系) パワーエレクトロニクス プラズマ工学 光物性工学 表面機能工学 波動物理学 応用分光計測学 ナノマテリアル工学 数理工学	電磁気学(第1類)、 電気回路学(第1類)、統 計力学、応用数学から3 科目選択	固体物理学、半導体工 学、量子力学、量子統計 力学、電子回路学から2 科目選択	志望する専門分野につい て行います。 (1人当たり約10分)
第2類(電気情報系) 光電子工学 スマートセンシング工学 スマートエネルギー工学 電気情報システム工学 情報処理工学 知識情報処理工学 マルチメディア工学 通信基盤工学 通信システム工学 システム制御工学 分散システム工学 情報基盤工学 知識情報システム工学 空間情報システム工学	電磁気学(第2類)、 電気回路学(第2類)、解 析、線形代数、確率統計 すべてを解答	電気情報Ⅰ、電気情報Ⅱ の両方を解答。それぞ れ、エレクトロニクス、 情報通信、情報処理に関 する問題	

※ 外国語(英語)の能力は、TOEICのスコアにより評価します(100点)。

※ 一定の基準を満たさない科目がある場合に不合格となることがあります。

願書記入上の注意

- ① 「志望専門分野名」欄の1~3に、「大学院の概要」
[<https://www.osaka-cu.ac.jp/ja/admissions/graduate/7rcubm>]に記載された専
門分野番号と専門分野名を志望する順に記入してください。類が異なる専門分野を同
時に志望することはできません。
- ② 受験科目欄の「基礎」欄1と「専門」欄1のそれぞれに志望する専門分野が属する
類、すなわち、第1類又は第2類と記入してください。「基礎」欄、「専門」欄及び出
願封筒の「コース・専門分野」欄にも同じ類を記入してください。
- ③ 教員の受入可能学生数から、志望する専門分野で合格できないことがあります。
- ④ 「研究指導教員名」欄は、事前相談を行ったうえで記入してください。

《化学生物系専攻》

8月24日(火)	8月25日(水)
13:30~17:00	13:00~
筆答試験	口述試験
応用化学・バイオ工学に関する専門科目 (50点)	専門科目や日本語の修得状況などについて行います。 (一人当たり約20分) (100点)

願書記入上の注意

- ① 外国語(英語)の能力は、TOEICのスコアにより評価します(50点)。
- ② 「志望専門分野名」欄の1、2に、「大学院の概要」
[<https://www.osaka-cu.ac.jp/ja/admissions/graduate/7rcubm>]に記載された専
門分野番号と専門分野名を志望する順に記入してください。
なお、必ずしも志望する専門分野に受け入れられるとは限りません。
- ③ 「受験科目」欄は記入不要です。
- ④ 「研究指導教員名」欄は、事前相談を行ったうえで記入してください。

《都市系専攻》

8月24日(火)		8月25日(水)	
9:00~12:00	13:30~16:30	13:00~	
筆答試験	筆答試験	口述試験	
基礎科目	専門科目	志望する専門分野の指示にしたがって、卒業研究の概要(A4用紙1枚:コピー10部)又は、設計演習等の成果物を持参すること。 口述試験は上記をもとに行います(100点)。 (1人当たり約10分)	
下記の2科目から1つを選択(200点)。	下記の15科目から志望する専門分野番号に対応する1科目を選択(300点)。		
	専門分野番号		科目名
●建築学基礎	1		建築計画・建築構法
	2		建築デザイン・建築史
●都市学基礎	3		都市計画
	4		都市基盤計画
	5		建築環境工学
	6		建築情報学
	7		地域環境計画
	8		環境生態工学
	9		水処理工学・廃棄物処理工学
	10		建築防災・風工学
	11		建築構造学
	12		構造工学・橋梁工学
	13	地盤工学	
	14	河川・海岸・水工学	
	15	空間情報学	

※ 外国語(英語)の能力は、TOEICのスコアにより評価します(100点)。また筆答試験と口述試験には一定の合格基準を設けています。

※ 建築学基礎：建築計画・建築構法、建築デザイン・建築史、建築環境工学、建築構造学、建築材料学に関する問題を出題します。

※ 都市学基礎：都市学科で提供している都市史、計画論、都市計画、環境計測学、都市エネルギー工学、環境生態学、構造力学Ⅰ、土質力学Ⅰ、水理学の計9問から5問を選択。

願書記入上の注意

- ① 「志望専門分野名」欄の1、2(第一志望のみの者は1のみ)に、「大学院の概要」
[\[https://www.osaka-cu.ac.jp/ja/admissions/graduate/7rcubm\]](https://www.osaka-cu.ac.jp/ja/admissions/graduate/7rcubm) に記載された専門分野番号と専門分野名を志望する順に記入してください。専門分野ごとの指導学生数の上限を設けています。詳細は「大学院の概要」
[\[https://www.osaka-cu.ac.jp/ja/admissions/graduate/7rcubm\]](https://www.osaka-cu.ac.jp/ja/admissions/graduate/7rcubm) を参照してください。
- ② 受験科目欄「基礎」に選択する基礎科目を一つ記入してください。
- ③ 受験科目欄「専門」に第一志望の専門分野番号に対応する専門科目を1科目のみ選択して記入してください。
- ④ 「研究指導教員名」欄は、事前相談を行ったうえで記入してください。

※ 願書記入について不明な点があれば、学生サポートセンター工学研究科教務担当で相談のうえ、記入してください。

● 生活科学研究科

入学者受入れの方針 (アドミッション・ポリシー)

アドミッション・ポリシー、ディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシーは以下をご参照ください。

<https://www.osaka-cu.ac.jp/ja/academics/graduate/humanlife#policy>



出願しようとする者は、「大学院の概要」[<https://www.osaka-cu.ac.jp/ja/admissions/graduate/7rcubm>]を参照の上、志望する専門科目の教員に、2021年7月1日(木)までに必ず相談してください。志望専門科目の担当教員連絡先は、学生サポートセンター生活科学研究科教務担当(裏表紙参照)にお問い合わせください。

《生活科学専攻》

日時等 履修 コース名	8月24日(火)			8月25日(水)
	10:00~11:30	12:30~14:00	14:30~16:00	10:00~
	筆答試験			口述試験
	<専門>	<英語>	<基礎>	
食・健康科学	志望する専門科目を 1科目選択 食品機能化学 栄養医科学 公衆栄養学 生体情報学 環境健康科学 微生物学 病態栄養学 臨床栄養学 生化学 食品衛生科学 生体機能学 応用栄養学 給食栄養管理学	英語 (本研究科が用意 する「英和辞典」の み使用できます)	次の4科目から 1科目選択 化学 生化学 解剖生理学 生物学	志望する専門について 行います。 (1人当たり約10分)
居住環境学	志望する専門科目を 1科目選択 住生活学 居住文化史 居住空間意匠学 住居人類学 居住環境工学 建築設備 建築計画学 人間工学 居住空間構造学 都市計画学 居住システム学 居住安全工学	英語 (本研究科が用意 する「英和辞典」の み使用できます) TOEICによる 代替可 (注参照)	次の 1科目必須 建築基礎 (建築作品・建築 史, 住居計画, 建 築計画, 都市計 画, 環境工学, 構 造に関する問題 30問中10問選 択)	志望する専門について 行います。 (1人当たり約10分)

総合福祉科学	志望する専門科目を 1科目選択 社会福祉学 福祉政策学 社会開発学 福祉システム学 教育臨床学 地域福祉学 家族社会学 社会政策学 先端ケア学	英 語 (本研究科が用意 する「英和辞典」の み使用できます)	次の 1科目 必須 福祉基礎 1 (社会学・心理学・ 教育学・経済学・社 会福祉学に関する 問題)	志望する専門につい て行います。 (1人当たり約10分)
臨床心理学	志望する専門科目を 1科目選択 発達臨床心理学 周産期家族臨床学	英 語 (本研究科が用意 する「英和辞典」の み使用できます)	次の 1科目 必須 心理学	志望する専門につい て行います。 (1人当たり約10分) ◎口述試験 24日(火)の 筆答試験の結果により 指定した者のみ行いま す。該当者は、25日(水) 9:00 に生活科学部棟 及び本学 Web サイト(入 試情報)合格者発表)で 発表します。

※ 合否判定は、各科目 100 点満点の 4 割以上かつ全科目合計点 6 割以上の者の中から、口述試験を含めて総合的に行います。

- 注 居住環境学コースのみ**、筆答試験「英語」の代わりに 2019 年 7 月 1 日以降に受験した TOEIC Listening & Reading Test のスコアを提出することができます。スコアを 100 点満点に換算した点数を筆答試験「英語」の成績とし、合否判定を行います。希望者は**出願書類に TOEIC 公式認定証(原本)を同封してください。**
- ・ TOEIC 公式認定証(原本)を提出した上で筆答試験「英語」を受験することもできます。その場合は両方の成績を比較した上で、出願者に有利と判断される方を「英語」の成績とします。
 - ・ 団体特別受験制度(IP テスト)のスコアは無効です。
 - ・ TOEIC 公式認定証は出願期間内に提出できるものに限り(差し替えは認めません)。また、提出された TOEIC 公式認定証は返却しません。

願書記入上の注意

次の共通①～③および各コースの④⑤に従って記入してください。

【コース共通】

- ① 「志望専攻名」欄に生活科学と記入してください。
- ② 「志望専門分野名」欄の1に志望する履修コース名を、2に希望する指導教員の専門科目を記入してください。
 ※各教員の専門科目は「大学院の概要」[<https://www.osaka-cu.ac.jp/ja/admissions/graduate/7rcubm>]を参照してください。
- ③ 受験科目「専門」欄の1に筆答試験<専門>欄より上記②と同じ専門科目を記入してください。

【食・健康科学コース】

- ④ 受験科目「基礎」欄の1に、食・健康科学コース<基礎>から1科目を選んで記入してください。
- ⑤ 受験科目「外国語」欄には記入する必要がありません。

【居住環境学コース】

- ④ 受験科目「基礎」欄には記入する必要がありません。
- ⑤ TOEIC 公式認定証を提出する場合、受験科目「外国語」欄の1に「TOEIC 提出」と記入してください。

【総合福祉科学コース】

- ④ 受験科目「基礎」欄には記入する必要がありません。
- ⑤ 受験科目「外国語」欄には記入する必要がありません。

【臨床心理学コース】

- ④ 受験科目「基礎」欄には記入する必要がありません。
- ⑤ 受験科目「外国語」欄には記入する必要がありません。

7 受験上・修学上の配慮を希望する者の出願

障がい等を有する等の理由により、本学の受験上・修学上の配慮を希望する者は、2021年7月1日(木)までに、志願する各研究科教務担当に申し出て相談してください。

なお、2021年7月2日(金)以降においても、可能な限り対応いたしますが、できる限り7月1日(木)までに申し出てください。

8 合格者発表等

(1) 合格者発表

掲示・Webサイトにより合格者の発表を行います。

研究科	日時(掲示・Webサイト掲載期間)	場所(掲示)
経営学研究科	9月14日(火)10:00～9月21日(火)17:00	各研究科の 指定する場所
経済学研究科	9月10日(金)10:00～9月16日(木)17:00	
法学研究科	9月14日(火)10:00～9月21日(火)17:00	
文学研究科	9月17日(金)10:00～9月23日(木)17:00	
理学研究科	9月16日(木)10:00～9月22日(水)17:00	
工学研究科	9月15日(水)10:00～9月21日(火)17:00	
生活科学研究科	9月14日(火)10:00～9月21日(火)17:00	

Webサイトでの合格者発表

本学Webサイト(<https://www.osaka-cu.ac.jp/ja/admissions/announcement>)に、合格者受験番号の一覧を掲載します。なお、いずれの発表方法についても電話等による合否の照会には一切応じません。

また、「合格者受験番号一覧表」の送付を希望する者は、受験票送付時に同封されている「受験上の注意」で案内しますので、確認してください。

(2) 合格通知書

各研究科の指定する日時・場所において、「合格通知書」等の書類をお渡しします。その際には「受験票」の提示が必要です。なお、合格者本人による書類の受け取りができない場合は、事前に学生サポートセンター各研究科教務担当へ連絡してください。

経済学研究科・文学研究科に合格した者には、合格者発表の初日に、「合格通知書」等の書類を発送します(手渡しでの書類交付はありません)。

9 入学手続

2021年9月29日(水) 時間・場所等の詳細については、別途合格者に通知します。

なお、入学手続時までに、入学料の納付が必要となります。

10 学 費

大阪市立大学は、大阪公立大学(仮称)の2022年4月開学に向けて設置認可申請中です。なお、2022年度入学者の金額は次のとおり予定しています。

入学料	納付区分	「大阪府民及びその子」注	282,000円
		「その他の者」	382,000円
授業料		年間	535,800円

なお、在学中に授業料の改定が行われた場合には、改定後の金額が適用されます。

注 「大阪府民及びその子」は、次の対象者が所定の手続きを行い、認定された場合に適用されます。

対象者：入学者本人もしくは入学者本人と同一戸籍にある父又は母が、入学日の1年以上前(2022年4月入学者の場合、2021年4月1日以前)から引き続き大阪府内に住民票がある者。日本国籍を有しない者も同一の要件です。

なお、手続きにおいて提出を求める「住民票(全員)」及び「戸籍抄本等の同一戸籍を証明する書類(必要者のみ)」については、入学手続日の属する月の1日以降に交付を受けたものとなります。

- ※ 入学料は、入学手続時まで納付する必要があります。また、既納の納付金は、還付いたしません。
- ※ 経済支援制度については、国際センター(TEL 06-6605-3558)において別途お知らせします。

11 注意事項

- (1) 出願受理後の出願取消しは一切認めません。また、出願書類等に不備がある場合は、出願を受理できないことがあります。
 - (2) 選抜試験の結果に関する照会には応じません。
 - (3) 既納の入学検定料は次の事由以外では返還しません。
 - ①入学検定料を払い込んだが、出願しなかった場合
 - ②出願書類の不備等により受理されなかった場合
 - ③重複して入学検定料を払い込んだ場合
 - ④本学が定めた新型コロナウイルス関連にかかる入学検定料還付対象者に該当した場合※該当者の詳細については、本学 Web サイトを確認してください。
<https://www.osaka-cu.ac.jp/ja/admissions>
- 注1 ①から③についての返還の方法等は、出願期間最終日より1か月以内に入試課までお問い合わせください。
- 2 入学検定料の返還については、取引可能な日本国内の口座に限りします。
 - 3 注2の口座を持たない者又は日本国外(海外)から出願する者は、必ず出願前に入試課(ocu-nyus@ado.osaka-cu.ac.jp)までメールでご連絡ください。
- (4) 入学願書に虚偽の記載をした場合、または入学試験において不正行為をしたことが判明した場合は、入学決定後であっても、許可を取り消すことがあります。
 - (5) 22 ページ「2 出願資格」(7)から(9)による出願者で、当該研究科の定めた資格要件を満たさなかった場合は、本試験に合格しても入学を許可しません。
 - (6) 本学では、出願・受験の過程において収集された個人情報について、入学試験・入学案内・入学手続関係・選抜方法研究・統計資料作成・本学での学生生活関連業務に関して必要とされる範囲で利用します。前述の業務以外で利用する場合は、必ず本人に了解を得た上で利用します。業務に必要な範囲で集められた個人情報を、第三者に提供することはありません。
 - (7) 本学では、「外国為替及び外国貿易法」に基づいて「大阪市立大学安全保障輸出管理規程」を定めて、物品の輸出及び技術の提供の観点から、厳格な審査を実施しています。規制事項に該当する場合は、希望する教育が受けられない場合や研究ができない場合がありますので、ご注意ください。
詳細については、本学 Web サイトの「安全保障輸出管理」をご覧ください。
https://www.osaka-cu.ac.jp/ja/research/promotion_office/export

過去の試験問題は、学生サポートセンター各研究科教務担当で閲覧できます。詳細は、学生サポートセンター各研究科教務担当にお問い合わせください(裏表紙参照)。

〈出願資格審査〉

一般選拔出願資格(9)～(11)〔1ページ参照〕に該当する者が対象です。
外国人留学生特別選拔出願資格(7)～(9)〔22ページ参照〕

※ 必ず事前に志望する研究科の教務担当に連絡をしてください。

1. 出願資格審査申請期限

2021年7月1日(木) 【消印有効】

2. 出願資格審査申請書等送付先

〒558-8585 大阪市住吉区杉本3-3-138 大阪市立大学学生サポートセンター〇〇研究科教務担当
(志望する研究科あてに送付してください。〔裏表紙参照〕)

3. 出願資格審査申請書類

① 出願資格審査申請書(本学所定用紙) ※下記「7. 出願資格審査申請書請求方法」参照

② 最終学歴に関する証明書

○ 一般選拔出願資格(9)の者
外国人留学生特別選拔出願資格(7)の者

・ 在籍した最終大学(学部)の退学証明書及び
在籍大学院研究科の在籍証明書又は修了
(見込)証明書
・ 在籍した大学(学部)の成績証明書及び在籍
大学院研究科の成績証明書

○ 一般選拔出願資格(10)の者
外国人留学生特別選拔出願資格(8)の者

・ 成績証明書
・ 在学証明書
・ 指導教員の推薦書(厳封したもの)

○ 一般選拔出願資格(11)の者
外国人留学生特別選拔出願資格(9)の者

・ 最終出身学校の成績証明書
・ 卒業(修了)証明書
・ 最終出身学校の学則及びシラバス、又はこ
れに相当するもの(コピー可)

③ 職務経歴又は学力に関する書類 (提出を求める場合があります)

④ 志望理由書 (提出を求める場合があります)

⑤ その他、本人の希望により、上記以外の証明書・論文・作品・資料等を添付することを認めます。

※ 研究科により、上記以外の書類の提出を求める場合があります。

※ 提出書類は、原則として返却しません。

※ 和文、英文以外のものについては、公的機関(出身大学、日本語学校、大使館等)の証明のある翻
訳文も必ず提出してください。個人の署名や印では認めません。

4. 出願資格審査 各研究科の選考方法による。

5. 出願資格審査結果通知方法 出願期間最終日の1週間前までに郵送(速達)で通知。
(ただし、理学研究科については別途連絡します。)

6. 出願資格認定有効期限 当該選抜試験に限る。(当該研究科に限り有効)

7. 出願資格審査申請書請求方法

**2021年7月1日(木)【消印有効】までに必ず必要書類をそろえて申請できるように、出願資格
審査申請書の請求は早めに行ってください。**

① 直接窓口で受領する場合

学生サポートセンター各研究科教務担当で受領してください。

月～金曜日(祝日及び休業日を除く) 9:00～17:00(12:00～12:45を除く)

② 郵送で請求する場合

ア 請求する封筒の表に「大学院前期博士課程出願資格審査申請書請求」と「赤色」で書き、
裏には差出人の郵便番号・住所・氏名・電話番号を記載。

イ 返信用封筒(84円分の返信用切手を貼り、受取人の郵便番号・住所・氏名を明記した定形
封筒)を同封。

ウ 請求先：〒558-8585 大阪市住吉区杉本3-3-138

大阪市立大学学生サポートセンター〇〇研究科教務担当

(志望する研究科あてに請求してください〔裏表紙参照〕。)

③ 本学Webサイトからダウンロードする場合(A4白紙に片面でプリントアウトしてください。)

[本学Webサイト <https://www.osaka-cu.ac.jp/ja/admissions/graduate/ishorui>]

〈社会人特別選抜学生募集の概要〉

研究科名	経済学研究科	法学研究科	文学研究科	生活科学研究科
専攻名	現代経済	法学政治学	哲学歴史学 人間行動学 言語文化学 文化構想学	生活科学
募集人員	若干名	若干名	若干名	若干名
出願資格 (A及びBの両条件を 充たす者)	次のいずれかに該当すること (1) 大学を卒業した者及び2022年3月までに卒業見込みの者 (2) 大学改革支援・学位授与機構により学士の学位を授与された者及び2022年3月までに授与される見込みの者 (3) 外国において学校教育における16年の課程を修了した者、及び2022年3月までに修了見込みの者 (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者及び2022年3月までに修了見込みの者 (5) 我が国において、外国の大学の課程(その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。)を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者及び2022年3月までに修了見込みの者 (6) 専修学校の専門課程(修業年限が4年以上であること、その他の文部科学大臣が別に定める基準を満たすものに限る。)で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以降に修了した者及び2022年3月までに修了見込みの者 (7) 昭和28年文部省告示第5号をもって文部科学大臣の指定した者 (8) 外国の大学その他の外国の学校(その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。)において、修業年限が3年以上である課程を修了すること(当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって出願資格(5)の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。)により、学士の学位に相当する学位を授与された者及び2022年3月までに授与される見込みの者 (9) 学校教育法第102条第2項の規定により大学院に入学した者であって、当該研究科において、大学院における教育を受けるにふさわしい学力があると認めたもの (10) 2022年3月末で、大学に3年以上在学し、又は外国において学校教育における15年の課程を修了し、当該研究科において所定の単位を優れた成績をもって修得したものと認めた者 (11) 当該研究科において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、2022年3月31日現在において22歳以上のもの(経済学研究科は、満30歳以上の者)			
	A	2022年3月31日現在において上記(1)～(8)、(10)(11)の出願資格取得者で、満30歳以上の者。	2022年3月31日現在において、3年以上の職業その他の社会的実務経験を有すること。 (9)～(11)については、別途出願資格認定が必要。	2022年3月31日現在において上記(1)～(9)、(11)の出願資格取得者で、3年以上の職業その他の社会的経験を有すること。
出願書類 配付時期	6月上旬			
出願期間	7月19日(月)～7月26日(月)			
選抜試験	8月26日(木)、 8月27日(金)	9月1日(水)	9月1日(水)、 9月2日(木)	8月24日(火)
合格発表	9月10日(金)	9月14日(火)	9月17日(金)	9月14日(火)
選抜方法	筆答試験並びに口述試験の成績及び出願書類の内容を総合して行います。	研究計画書などの書類審査、専門科目1科目の筆答試験及び口述試験により行います。	筆答試験並びに口述試験の成績及び出願書類の内容を総合して行います。	A選抜：研究計画書などの書類審査、筆答試験(専門分野1科目・英語)及び口述試験により行います。 B選抜(総合福祉科学コース)：書類審査と筆答試験(専門)及び口述試験により行います。

※ 社会人特別選抜による入学者についても、一般選抜による入学者と同様に昼間課程(夜間課程はありません)となりますが、夜間にも履修できるようにするなど、さまざまな便宜を図っている研究科もあります。

詳しくは研究科ごとに発行している前期博士課程社会人特別選抜学生募集要項を参照してください。

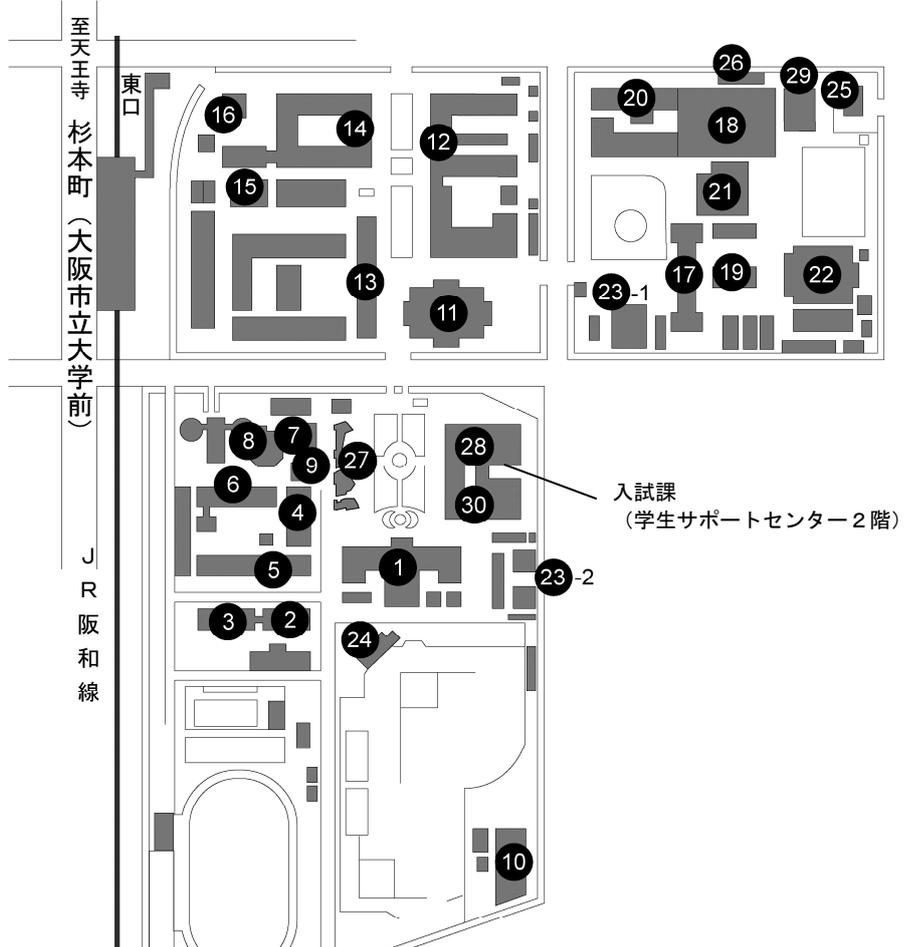
募集要項の請求方法は、裏表紙下欄を参照してください。

-MEMO-

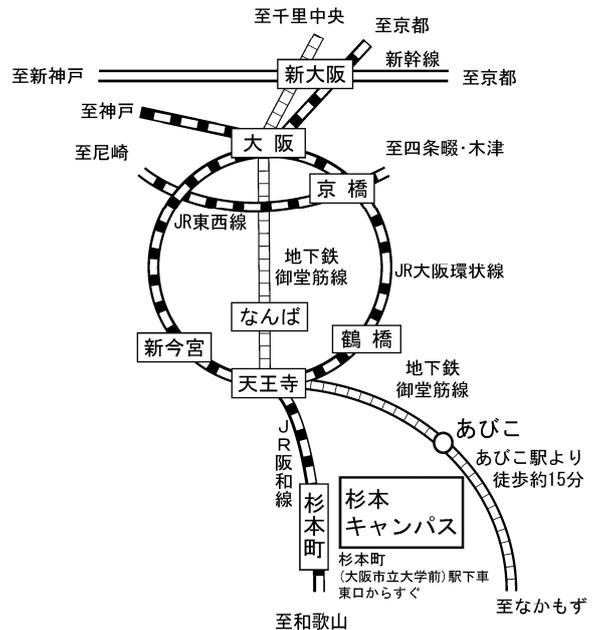
■ 杉本キャンパス

〒558-8585 大阪市住吉区杉本3-3-138
 JR 阪和線「杉本町(大阪市立大学前)」駅下車、東口からすぐ
 地下鉄御堂筋線「あびこ」駅下車、4号出口より南西へ徒歩約15分

- ① 1号館
- ② 商学部棟
- ③ 経済学部棟
- ④ 法学部棟
- ⑤ 文学部棟
- ⑥ 経済研究所棟
- ⑦ 都市研究プラザ
- ⑧ 田中記念館
- ⑨ 保健管理センター
- ⑩ 河海工学実験場
- ⑪ 学術情報総合センター
- ⑫ 理学部棟
- ⑬ 工学部棟
- ⑭ 生活科学部棟
- ⑮ 工作技術センター
- ⑯ 生活科学部棟別館
- ⑰ 2号館
- ⑱ 全学共通教育棟
- ⑲ 4号館
- ⑳ 基礎教育実験棟
- ㉑ 第1体育館
- ㉒ 第2体育館
- ㉓-1 第1学生ホール
- ㉓-2 第2学生ホール
- ㉔ 硬式野球場スタンド
- ㉕ ゲストハウス
- ㉖ インキュベータ
- ㉗ 高原記念館
- ㉘ 学生サポートセンター
- ㉙ 共通研究棟
- ㉚ 本部棟



■ 交通案内図



● 問い合わせ先

◆専攻・分野・受験科目・過去問題等

学生サポートセンター		〒558-8585 大阪市住吉区杉本3丁目3番138号
経営学研究科教務担当	TEL 06-6605-2202	FAX 06-6605-3649 〔各研究科共通〕 (FAXでお問い合わせの際は、必ず志望研究科名を明記してください。)
経済学研究科教務担当	TEL 06-6605-2251	
法学研究科教務担当	TEL 06-6605-2303	
文学研究科教務担当	TEL 06-6605-2353	
理学研究科教務担当	TEL 06-6605-2504	
工学研究科教務担当	TEL 06-6605-2651	
生活科学研究科教務担当	TEL 06-6605-2803	
◎受付時間 月～金曜日(祝日及び休業日を除く) 9:00～17:00 (12:00～12:45を除く)		

◆出願手続等

大阪市立大学 入試課	TEL 06-6605-2141
------------	------------------

出願書類の請求方法 (郵送希望者)

- 1 封筒の表に「赤色」で「大学院〇〇研究科前期博士課程(修士課程)学生募集要項請求(一般選抜・外国人留学生特別選抜)又は(社会人特別選抜)」と記載。
- 2 返信用封筒(封筒の表に「ゆうメール」と「赤色」で記載のうえ、310円分の返信用切手を貼り、受取人の郵便番号・住所・氏名を明記したもの〔角形2号(24.0cm×33.2cm)〕を同封してください。
- 3 請求先 〒558-8585 大阪市住吉区杉本3丁目3番138号
大阪市立大学 入試課



大阪市立大学
OSAKA CITY UNIVERSITY

入試課

〒558-8585 大阪市住吉区杉本3丁目3番138号
2021年6月発行